

令和7年度 一般会計決算附属資料

健康長寿福祉部 主要な施策の成果

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	307千円		384千円	77千円	79.9 %			
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課	
	事業	02 行旅死亡人等取扱事務					1,599千円			
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		主な財源	府負	行旅死亡人取扱費負担金			173千円	
					諸収入	行旅死亡人遺留金			9千円	
目的		市内において、旅行中に死亡し身元の分からない方や、市内で死亡し引取者のない方に対し、「行旅病人及び行旅死亡人取扱法」又は「墓地、埋葬等に関する法律」に基づき縁故者に代わって援助措置を行う。								
主要な事務・事業の概要	○「行旅病人及行旅死亡人取扱法」に基づくもの		150千円		○「墓地、埋葬等に関する法律」に基づくもの					157千円
	京丹後市内において死亡した身元の分からない方に対し、行旅病人及行旅死亡人取扱法に基づき、所在地の市町村が取り扱うことが規定されている。該当者（1体）について、火葬等を行い、官報公告を掲載した。				京丹後市内で死亡した方に、葬祭、埋葬をする者がいない又は判明しなかったため、墓地、埋葬等に関する法律に基づき、死亡地の市町村がこれを行わなければならない。該当者（1体）について、火葬等を行った。					
	・消耗品費（棺、骨箱等）		60千円		・消耗品費（棺、骨箱等）					60千円
	・遺体処置料		11千円		・遺体処置料					11千円
	・遺体搬送料		15千円		・遺体搬送料					15千円
	・火葬料		30千円		・火葬料					30千円
	・官報掲載料		12千円		・死体検案書作成手数料					33千円
	・死体検案書作成手数料		22千円		○遺留金清算に係る経費					
					成果・課題	・通信運搬費（切手代：清算人選任申立）				2千円
						・官報掲載料				5千円
						・相続財産清算人選任申立手数料（収入印紙）				1千円
						行旅病人及行旅死亡人取扱法及び墓地、埋葬等に関する法律に基づき、事務を適正に執行できた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	2,852千円		2,863千円	11千円	99.6 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）
	事業	03 暮らしの資金貸付事業					2,916千円		
まちづくり27の施策	14	誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源	諸収入	暮らしの資金貸付金元金収入				612千円
				諸収入	デジタル基盤改革支援補助金				1,749千円
目的	一時的に生活の不安定な低所得世帯、又は債務整理による生活再建に際し一時的に生活が困窮している世帯に対し、暮らしのために緊急に必要とする資金の貸付けを行い、世帯の自立を助長し、生活の安定を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○暮らしの資金貸付金				947千円				
	貸付を希望する一時的に生活が不安定な世帯に対し、面談による状況聴取を行い、申請を受け付け、貸付審査会の審査を経て資金の貸付を行った。								
	≪貸付実績≫								
		令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度			
	申請件数	6件	13件	17件	16件	8件			
貸付件数	4件	6件	14件	11件	7件				
貸付金額	310千円	550千円	1,420千円	1,245千円	947千円				
	○貸付金管理台帳システム委託料（保守）				155千円				
	○貸付金管理台帳システム委託料（改修）				1,749千円				
	※TRY-X4標準化に伴う改修								
	○消耗品費				1千円				
					成果・課題	○一時的に生活が不安定になった世帯に対し、緊急的に貸付を行うことで、世帯の自立更生及び生活意欲の助長促進を図ることができた。 ○収入や一時的な困窮などの対象要件に合致しない場合には、他の支援につないだ。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																								
	項	01 社会福祉費	23,281千円		23,287千円	6千円	99.9 %		課	生活福祉課																							
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額																										
	事業	05 民生児童委員活動事業					24,145千円																										
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源	府補	民生委員・児童委員活動費補助金				12,040千円																								
目的	民生委員・児童委員の活動を支援するため、費用弁償等の活動費、地域福祉活動促進費等の補助金を交付し、委員活動の充実を図る。 また、民生委員・児童委員の任期満了に伴い、民生委員推薦会及び各町域での民生委員推薦準備会を開催し円滑な改選を実施する。			府補	民生児童委員協議会会長活動費補助金				71千円																								
				府補	民生児童委員協議会地域福祉活動促進費補助金				1,018千円																								
				府補	民生委員推薦会事業費補助金				45千円																								
主要な事務・事業の概要	○民生推薦会・推薦準備会			554千円		○民生委員・児童委員活動費補助金				21,776千円																							
	・推薦会経費（2回、14人）			90千円		<table><tr><th></th><th>委員数</th><th>補助金額</th></tr><tr><td>峰山町</td><td>41人</td><td>4,439千円</td></tr><tr><td>大宮町</td><td>31人</td><td>3,382千円</td></tr><tr><td>網野町</td><td>45人</td><td>4,859千円</td></tr><tr><td>丹後町</td><td>26人</td><td>2,857千円</td></tr><tr><td>弥栄町</td><td>19人</td><td>2,123千円</td></tr><tr><td>久美浜町</td><td>38人</td><td>4,116千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>200人</td><td>21,776千円</td></tr></table>					委員数	補助金額	峰山町	41人	4,439千円	大宮町	31人	3,382千円	網野町	45人	4,859千円	丹後町	26人	2,857千円	弥栄町	19人	2,123千円	久美浜町	38人	4,116千円	合計	200人	21,776千円
		委員数	補助金額																														
	峰山町	41人	4,439千円																														
	大宮町	31人	3,382千円																														
	網野町	45人	4,859千円																														
	丹後町	26人	2,857千円																														
	弥栄町	19人	2,123千円																														
	久美浜町	38人	4,116千円																														
	合計	200人	21,776千円																														
・推薦準備会経費（各町2～3回）			464千円																														
○感謝状・委嘱状伝達式			752千円																														
・退職委員記念品（1,182円（税抜き）×115人分）			150千円																														
・送迎費用（バス運転委託料、燃料費）			207千円																														
・伝達式消耗品費、一斉改選に伴う紹介パンフレット等			319千円																														
・会場借上料			76千円																														
○研修会等経費			199千円																														
・消耗品費			2千円																														
・送迎費用（バス運転委託料、燃料費、有料道路通行料）			149千円																														
・会場借上料等			48千円																														
■市民生児童委員協議会実施研修会（全員研修会）			成果・課題																														
日付：令和8年3月7日 場所：丹後文化会館 参加者数：156人																																	
■単位民生児童委員協議会実施研修会等																																	
<table><tr><td>町域</td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td></tr><tr><td>回数</td><td>8回</td><td>9回</td><td>10回</td><td>9回</td><td>4回</td><td>3回</td></tr></table>			町域	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	回数	8回	9回	10回	9回	4回	3回																	
町域	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町																											
回数	8回	9回	10回	9回	4回	3回																											
■その他 主任児童委員研修会、中堅リーダー研修会、代表者研修会等への参加																																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	960千円		967千円	7千円	99.2 %		課	生活福祉課
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額			
	事業	06 戦没者追悼事業					1,016千円			
まちづくり 27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		府補	援護事務交付金（10/10）177千円					
目的		戦没者を追悼し、平和を祈念するため、全国戦没者及び京都府戦没者追悼式へ参列するとともに、京丹後市戦没者追悼式を開催する。 また、戦没者等の遺族に対する第十二回特別弔慰金の申請受付及び国庫債券の交付事務を行う。			主な財源					
主要な事務・事業の概要	○全国戦没者追悼式（参列者数：2人）		22千円		○第十二回特別弔慰金に係る経費177千円					
	開催日：令和7年8月15日				・消耗品費（事務用品、コピー用紙等）113千円					
	場 所：日本武道館（東京都）				・通信運搬費（国庫債券返送用切手代、交付通知郵送料等）64千円					
	・参列者旅費（参列者乗車駅～京都駅）									
		※京都駅～東京駅の交通費は府負担								
○京都府戦没者追悼式（参列者数：54人）										
開催日：令和7年10月15日										
場 所：国立京都国際会館（京都市）										
・随員職員2人（旅費なし）										
○京丹後市戦没者追悼式（参列者数：207人）		761千円								
開催日：令和7年11月11日										
場 所：京都府丹後文化会館										
・需用費（祭壇、燃料費）		332千円								
・役務費（クリーニング代ほか）		78千円								
・委託料（送迎用マイクロバス運転委託料）		35千円								
・使用料及び賃借料（送迎バス借上料、会場借上料）		316千円								
				成果・課題	○戦没者を追悼し、遺族を感謝激励するとともに、世界の恒久平和を願うことができた。 ○戦没者等の遺族に対する第十二回特別弔慰金の申請受付及び国庫債券の交付を行った。 ○戦後80年が経過し、いかに戦争の記憶を風化させず、平和の尊さを語り継いでいくのかが、大きな課題となっている。 ○戦没者遺族の高齢化に伴い、戦没者追悼式の参列者が減少傾向にあることから、開催内容や参列方法等について、検討する必要がある。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	60,204千円	60,204千円	0千円	100.0 %		課
	目	01 社会福祉総務費				(参考)当初予算額		
	事業	08 社会福祉協議会運営費助成事業				60,204千円		
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源					
目的		京丹後市社会福祉協議会の事務職員の人件費補助を行うことで、円滑な協議会運営を支援し、地域福祉活動の充実を図る。						
主要な事務・事業の概要	○社会福祉協議会運営費補助金			60,204千円				
	※社会福祉協議会の事務職員の人件費（補助対象職員：16人）							
		補助対象職員数	補助金					
	R2	17人	71,264千円					
	R3	17人	65,265千円					
	R4	18人	69,674千円					
	R5	17人	68,238千円					
R6	17人	69,233千円						
R7	16人	60,204千円						
社会福祉協議会は、社会福祉法第109条に規定された「地域福祉の推進」を目的とする社会福祉法人。市が策定した「地域福祉計画」と密接な関連を持ち、福祉関係機関や団体、地域住民等と連携しながら積極的に取組を進めている。								
			成果・課題	社会福祉協議会本所（弥栄支所含む）及び5支所の事務職員人件費の補助を行うことで、協議会の円滑な運営に寄与するとともに、地域福祉活動の充実を図ることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	470千円		470千円	0千円	100.0 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	09 災害見舞金等事業					280千円		
まちづくり 27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		主な財源					
目的		災害（風水害・火災等）により被災された市民に対し、見舞金を支給する。							
主要な事務・事業の概要	○災害見舞金				270千円				
	・火災によるもの：7件								
			全 焼		部分焼				
			件数	見舞金	件数	見舞金			
	住 家		4件	200千円	0件	0千円			
非 住 家		2件	60千円	1件	10千円				
○災害弔慰金				200千円					
・火災による世帯主以外の死亡：1件（200千円）									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部									
	項	01 社会福祉費	781千円		820千円	39千円	95.2 %		課	生活福祉課								
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額											
	事業	13 災害時要配慮者支援事業					994千円											
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源	府補 きょうと地域連携交付金 390千円														
目的		災害時要配慮者避難支援プランに基づき、災害時に支援を要する要配慮者の避難支援体制を確立することを目的に、台帳の定期更新及び個別避難計画の充実を図るとともに、関係機関との情報共有を図り、災害に備えた地域や福祉事業所等の協力体制づくりを推進する。																
主要な事務・事業の概要	○個別避難計画作成協力謝金（38事業所・45人） ・4千円、45人			180千円	※要支援者台帳登録者数													
	○個別避難計画更新経費 ・消耗品費 ・通信運搬費			201千円 20千円 181千円	<table><tr><td></td><td>登録者数</td><td>対前年</td></tr><tr><td>令和7年3月31日現在</td><td>1,224人</td><td>55人減</td></tr><tr><td>令和8年3月31日現在</td><td>1,101人</td><td>123人減</td></tr></table>						登録者数	対前年	令和7年3月31日現在	1,224人	55人減	令和8年3月31日現在	1,101人	123人減
		登録者数	対前年															
	令和7年3月31日現在	1,224人	55人減															
令和8年3月31日現在	1,101人	123人減																
○災害時要配慮者支援台帳システム ・システム保守委託料（14台分） ・ライセンス使用料			400千円 297千円 103千円	【台帳共有先】 ・自治会、民生児童委員、京丹後警察署、京丹後市社会福祉協議会、避難支援者 ・市関係部署 長寿福祉課、障害者福祉課、健康推進課、総務防災課、各市民局、消防署														
【避難行動要支援者登録台帳】 災害が発生する可能性がある時又は発生した場合、自力では避難が困難な在宅の高齢者や障害者の方などを、地域の方々や消防署などが協力し、助け合いながらスムーズな避難行動を行うことを目的として、避難行動要支援者登録台帳を整備している。 この台帳は、毎年3月1日を基準日として、区長、民生児童委員の協力により見直しを行っている。			成果・課題 ○区長、民生児童委員の協力のもと、避難行動要支援者登録台帳を定期更新することにより、災害時における要支援者の避難誘導等の体制を整えるとともに、地域住民の意識向上を図ることができた。 ○避難行動要支援者に係る心身の状況、避難経路など個別避難計画の項目等の見直しを福祉事業所等と共に検討し、要支援者個々の支援内容の充実を図ることができた。															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	3,138千円		3,178千円	40千円	98.7 %			
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）	
	事業	17 権利擁護支援体制整備推進事業					3,213千円			
まちづくり27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			215千円		
				国補	生活困窮者自立支援補助金（1/2）			30千円		
目的	成年後見制度の利用の促進に関する法律に基づき、判断能力が十分でない高齢者、知的障害者及び精神障害者等が、成年後見制度をはじめとした権利擁護支援を円滑に受けられる体制づくりを行い、身近な住み慣れた地域で安心して生活できる「ささえあい」による権利擁護の推進を図る。			府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			107千円		
				府補	地域医療介護総合確保事業費補助金（10/10）			2,512千円		
主要な事務・事業の概要	地域における成年後見制度を始めとした権利擁護支援体制の整備の事務局・相談窓口として成年後見サポートセンターを設置し、日常的な相談対応のほか、専門職等との連携による権利擁護チームの支援、普及啓発活動、権利擁護支援を担う人材養成などの取組を行った。			○普及啓発・担い手養成事業の実施						2,884千円
				・普及啓発・担い手養成事業委託料						2,884千円
	成年後見サポートセンター（中核機関）による取組 (1) 成年後見制度に関する相談支援 (2) 成年後見制度に関する広報及び啓発 (3) 権利擁護支援に係る人材の養成及び支援 (4) 権利擁護支援に係る関係機関等との連携及び調整			委託先：京丹後市社会福祉協議会						
				事業内容： ① 出前講座の開催（7回、延べ参加者数130人） ② 権利擁護支援啓発講座の開催（1回、参加者数20人） ③ 啓発パンフレットの配布 ④ 支援者養成講座の開催 内容：フォローアップ講座（1回、参加者数11人） スキルアップ研修（1回、参加者数12人）						
	○権利擁護支援体制あり方検討委員会開催			205千円	○相談支援体制等に関する経費					
・委員謝金（報償費及び費用弁償）			187千円	・アドバイザー謝金（1回×3人）						37千円
①7月16日 委員5人				・駐車場使用料						1千円
②12月24日 委員5人・オブザーバー11人※				・有料道路通行料						11千円
③3月25日 委員6人				成果・課題	○権利擁護支援体制あり方検討委員会での検討・連携による地域連携ネットワークづくり、市民に向けた啓発講座・支援者養成講座の開催など権利擁護支援の体制づくりに取り組むことができた。 ○法改正により、成年後見サポートセンターの機能の充実、権利擁護にかかる担い手不足の解消等に向けた取り組みが必要となるため、今後も制度の普及啓発とともに、担い手育成の仕組みづくりを検討し、進めていく必要がある。					
※第2回委員会は権利擁護支援における地域連携ネットワーク会議を兼ねる										
・消耗品費（事務用品）			10千円							
・郵便代			8千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																				
	項	01 社会福祉費	815千円		905千円	90千円	90.0 %																						
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																				
	事業	18 介護人材育成支援事業					2,440千円																						
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主 な 財 源	府補 きょうと地域連携交付金 360千円																									
目的		介護サービス又は障害福祉サービスに従事する介護職員の確保及び資質の向上を図るため、資格取得に係る研修受講料の一部を支援する。																											
主要な事務・事業の概要	○介護人材確保育成支援事業補助金（法人向け） 735千円		・ 主任介護支援専門員研修補助（補助率：10／10） 155千円																										
	【対象者】 下記の①及び②に該当する職員に係る対象経費を負担した市内の介護事業所等を運営する法人 ①研修受講前から雇用している職員であること ②研修修了後、当該法人に3か月以上勤務した職員であること 【対象経費】受講料、手数料、教材費		<table><tr><td>申請法人</td><td>受講数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>（特非）やさか福祉村</td><td>1人</td><td>49千円</td></tr><tr><td>（福）太陽福祉会</td><td>1人</td><td>53千円</td></tr><tr><td>（福）丹後福祉会</td><td>1人</td><td>53千円</td></tr><tr><td>計</td><td>3人</td><td>155千円</td></tr></table>							申請法人	受講数	補助金額	（特非）やさか福祉村	1人	49千円	（福）太陽福祉会	1人	53千円	（福）丹後福祉会	1人	53千円	計	3人	155千円					
	申請法人	受講数	補助金額																										
	（特非）やさか福祉村	1人	49千円																										
（福）太陽福祉会	1人	53千円																											
（福）丹後福祉会	1人	53千円																											
計	3人	155千円																											
・ 介護職員実務者研修補助（補助率：2／3、上限80千円） 580千円		○介護資格取得費用補助金（個人向け） 80千円																											
<table><tr><td>申請法人</td><td>受講数</td><td>補助金額</td></tr><tr><td>（福）ふるさとの会</td><td>1人</td><td>80千円</td></tr><tr><td>（福）あしぎぬ福祉会</td><td>3人</td><td>194千円</td></tr><tr><td>（特非）いやしの郷ほっこり</td><td>2人</td><td>160千円</td></tr><tr><td>（福）北丹後福祉会</td><td>1人</td><td>66千円</td></tr><tr><td>楽康（同）</td><td>1人</td><td>80千円</td></tr><tr><td>計</td><td>8人</td><td>580千円</td></tr></table>		申請法人	受講数	補助金額	（福）ふるさとの会	1人	80千円	（福）あしぎぬ福祉会	3人	194千円	（特非）いやしの郷ほっこり	2人	160千円	（福）北丹後福祉会	1人	66千円	楽康（同）	1人	80千円	計	8人	580千円	【対象者】 対象経費を負担した下記の①及び②に該当する個人 ①対象研修の修了後、京丹後市内の介護事業所等に就職すること ②京丹後市内の介護事業所等に介護職員として3か月以上勤務すること 【対象経費】受講料、手数料、教材費						
申請法人	受講数	補助金額																											
（福）ふるさとの会	1人	80千円																											
（福）あしぎぬ福祉会	3人	194千円																											
（特非）いやしの郷ほっこり	2人	160千円																											
（福）北丹後福祉会	1人	66千円																											
楽康（同）	1人	80千円																											
計	8人	580千円																											
		・ 介護職員実務者研修（1人、補助率：2／3、上限80千円） 80千円																											
		成果・課題		○介護・障害福祉サービス分野への就労及び介護職員の資質向上に寄与することができた。 ○更なる職員の確保等につなげていくため、本事業の周知・広報活動を強化する必要がある。																									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	495千円		496千円	1千円	99.7 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課
	事業	21 地域福祉計画策定事業					492千円		
まちづくり 27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主 な 財 源						
目的		第5次京丹後市地域福祉計画（令和9年度から令和13年度までの計画）の策定に向け、市民2,000人に対しアンケートを実施し、地域の現状と課題を把握する。							
主要な事務・事業の概要	○需用費		72千円						
	・消耗品費		18千円						
	・印刷製本費		54千円						
	○役務費（アンケート送付・返信郵送料）		423千円						
【アンケート概要】									
実施時期：令和7年12月～令和8年1月									
対象者：2,000人（令和7年12月1日現在 20歳以上）									
調査方法：アンケート調査票を郵送で配付（全41問）									
郵送またはPC、スマートフォンによる回答									
調査結果：回答数 887／2,000 回答率 44.4%									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部									
	項	01 社会福祉費	224,055千円		228,315千円	4,260千円	98.1 %											
	目	01 社会福祉総務費					(参考) 当初予算額	課	生活福祉課									
	事業	23 住民税非課税世帯等臨時特別給付金給付事業					0千円											
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 224,055千円															
目的	エネルギー・食料品価格等の物価高騰による負担増を踏まえ、家計への影響が大きい住民税非課税世帯及び住民税均等割のみ課税世帯に対して、1世帯当たり3万円を支給する。		主な財源															
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）		374千円		【概要】基準日：令和8年1月1日 <table><tr><td></td><td>住民税均等割 非課税世帯</td><td>住民税均等割 のみ課税世帯</td></tr><tr><td>給付額</td><td>30千円／世帯</td><td>30千円／世帯</td></tr><tr><td>給付世帯数</td><td>5,877世帯</td><td>1,453世帯</td></tr></table>						住民税均等割 非課税世帯	住民税均等割 のみ課税世帯	給付額	30千円／世帯	30千円／世帯	給付世帯数	5,877世帯	1,453世帯
		住民税均等割 非課税世帯	住民税均等割 のみ課税世帯															
	給付額	30千円／世帯	30千円／世帯															
	給付世帯数	5,877世帯	1,453世帯															
	○職員手当等（時間外勤務手当等）		415千円															
○需用費（消耗品費、印刷製本費）		96千円																
○役務費（通信運搬費、手数料）		2,094千円																
○負担金、補助及び交付金		221,076千円																
・京都府自治体情報化推進協議会システム改修負担金		1,176千円																
・住民税均等割非課税世帯に対する臨時特別給付金		176,310千円																
・住民税均等割のみ課税世帯に対する臨時特別給付金		43,590千円																
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		224,059千円															
	実質的な予算執行率		99.9%															
■令和8年度への繰越事業		4,256千円																
・住民税均等割非課税世帯等臨時特別給付金（令和8年5月完了）																		
成果・課題	エネルギー・食料品価格等の高騰により様々な困難に直面した非課税世帯、低所得者世帯に対し、臨時特別給付金を支給することにより、速やかに生活・暮らしの支援を行うことができた。																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																															
	項	01 社会福祉費	1,507千円		1,507千円	0千円	100.0 %																																	
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																															
	事業	24 高齢・障害福祉施設食材費高騰対策支援給付金給付事業					0千円																																	
まちづくり 27の施策	04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 1,500千円																																				
目的	食材料費の高騰が続く中、高齢・障害福祉施設食材費高騰対策支援給付金を支給し、市内の介護サービス事業所等の負担軽減と経営の安定化を図る。																																							
主要な事務・事業の概要	○ 高齢・障害福祉施設食材費高騰対策支援給付金 1,507 千円		【給付金額等】																																					
	【対象施設】 市内に所在する居住系（一部入所系を含む）・通所系の介護サービス事業所又は障害者施設		<table><tr><th rowspan="2"></th><th rowspan="2">給付単価</th><th colspan="3">対象施設数</th><th rowspan="2">給付金額</th></tr><tr><th>介護サービス事業所</th><th>障害者施設</th><th>計</th></tr><tr><td>居住系（3食/日）</td><td>3,400円/人</td><td>9</td><td>6</td><td>15</td><td>389千円</td></tr><tr><td>居住系（2食/日）</td><td>2,200円/人</td><td>0</td><td>7</td><td>7</td><td>167千円</td></tr><tr><td>通所系（1食/日）</td><td>1,100円/人</td><td>31</td><td>22</td><td>53</td><td>951千円</td></tr><tr><td>計</td><td></td><td>40</td><td>35</td><td>75</td><td>1,507千円</td></tr></table>						給付単価	対象施設数			給付金額	介護サービス事業所	障害者施設	計	居住系（3食/日）	3,400円/人	9	6	15	389千円	居住系（2食/日）	2,200円/人	0	7	7	167千円	通所系（1食/日）	1,100円/人	31	22	53	951千円	計		40	35	75	1,507千円
		給付単価	対象施設数			給付金額																																		
			介護サービス事業所	障害者施設	計																																			
	居住系（3食/日）	3,400円/人	9	6	15	389千円																																		
居住系（2食/日）	2,200円/人	0	7	7	167千円																																			
通所系（1食/日）	1,100円/人	31	22	53	951千円																																			
計		40	35	75	1,507千円																																			
【対象経費】 利用者へ提供する食事の材料費																																								
【対象期間】 令和7年7月から令和7年9月まで																																								
成果・課題	食材料費の高騰に対して給付金を交付することにより、市内の介護サービス事業所や障害者施設の負担軽減と経営の安定を図ることができた。																																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	14,437千円		14,801千円	364千円	97.5 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)当初予算額	生活福祉課	
	事業	50 社会福祉総務一般経費					15,478千円		
まちづくり 27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源	国委 厚生労働統計調査事務委託金 14千円					
目的		福祉事務所運営を円滑に行うための経費や、母子寡婦福祉会、障害者団体などの活動に対し助成することにより、ひとり親家庭等の自立や障害者の社会参加を促進し福祉の向上を図る。							
主要な事務・事業の概要	○社会福祉業務運営に係る一般経費 4,971千円			○社会福祉団体事業補助金 868千円					
	・福祉事務所共通物品購入経費 2,295千円 （事務用品、封筒、事務機器消耗品ほか）			・母子寡婦福祉会活動補助金 355千円					
	・公用車（16台）の維持管理経費 2,453千円 （修繕料、燃料費、自動車登録手数料、保険料ほか）			・障害者団体活動補助金 513千円					
	・費用弁償（高齢叙勲受章伝達） 19千円			○会計年度任用職員任用経費（事務補助員・2人） 8,378千円					
	・職員旅費、駐車場使用料等（会議ほか） 44千円			○旧丹後保健センター利活用事業 220千円					
	・近畿ブロック都市福祉事務所長連絡協議会負担金 8千円			・修繕料					
	・安全運転管理者講習会負担金、運転経歴証明書手数料 21千円								
	・ごみ持込処理手数料 88千円								
	・その他経費（テレビ受信料、印刷機等修繕料） 43千円								
				成果・課題	○福祉事務所の運営を円滑に実施することができた。 ○社会福祉団体へ補助金の交付を行うことにより、ひとり親家庭の自立の促進や障害者の社会参加の促進に寄与することができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	2,700千円		2,719千円	19千円	99.3 %		
	目	01 社会福祉総務費					(参考)繰越予算額	課	生活福祉課
	事業	50 社会福祉総務一般経費（繰越）					2,719千円		
まちづくり 27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源						
目的	旧丹後保健センターを利活用するため、公募に向けた準備を行う。								
主要な事務・事業の概要	○旧丹後保健センター利活用に向けた準備経費				2,700千円				
	・不動産鑑定委託料				302千円				
	・境界確定業務委託料				2,296千円				
	・測量委託料				91千円				
	・その他経費				11千円				
	（郵送代、住民票等取得手数料、有料道路通行料）								
	＜旧丹後保健センターの施設概要＞								
	・所在地：丹後町間人地内								
	・構造：鉄筋コンクリート造、地上2階建								
	・建築年月日：昭和59年3月12日								
	・延べ床面積：516㎡								
成果・課題					○旧丹後保健センターの利活用に向けて、必要な売払建物の評価及び表題登記並びに貸付土地の測量及び境界確定を行い、公募を行うことができた。 ○公募の結果、応募者がなかったため、公募条件等の見直しを行い、早期の利活用を目指す。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																															
	項	01 社会福祉費	22,003千円		22,446千円	443千円	98.0 %																																	
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	21,294千円																																
	事業	01 自立相談支援事業																																						
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補	生活困窮者自立支援補助金（2/3、1/2）			112千円																															
目的	くらしやしごとに関して幅広い相談を来所・訪問・Webなどの方法で受け付けられる相談体制を整え、多様で複合的な問題を抱える生活困窮者に対して、個別的、包括的、かつ計画的な伴走型の支援によって自立の促進を図るとともに、生活困窮者支援を通じた地域内外のネットワークの構築により、支え合い、助け合う地域づくりを推進する。				国補	重層的支援体制整備事業交付金（3/4）			14,959千円																															
					諸収入	寄り添い支援総合サポ-トセンター光熱水費負担金			60千円																															
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員4人）				18,881千円						《支援実績》																													
	○その他経費				3,111千円						<table><tr><td>年度</td><td>新規相談者数 （うち市民相談）</td><td>前年度から 引き継ぎ数</td><td>プラン 作成数</td><td>就労者数</td></tr><tr><td>R4</td><td>205人 （97人）</td><td>217人</td><td>142件</td><td>18人</td></tr><tr><td>R5</td><td>229人 （130人）</td><td>275人</td><td>112件</td><td>11人</td></tr><tr><td>R6</td><td>256人 （142人）</td><td>364人</td><td>89件</td><td>23人</td></tr><tr><td>R7</td><td>190人 （77人）</td><td>444人</td><td>115件</td><td>17人</td></tr></table>					年度	新規相談者数 （うち市民相談）	前年度から 引き継ぎ数	プラン 作成数	就労者数	R4	205人 （97人）	217人	142件	18人	R5	229人 （130人）	275人	112件	11人	R6	256人 （142人）	364人	89件	23人	R7	190人 （77人）	444人	115件	17人
	年度	新規相談者数 （うち市民相談）	前年度から 引き継ぎ数	プラン 作成数	就労者数																																			
	R4	205人 （97人）	217人	142件	18人																																			
	R5	229人 （130人）	275人	112件	11人																																			
	R6	256人 （142人）	364人	89件	23人																																			
	R7	190人 （77人）	444人	115件	17人																																			
	・自立相談支援員研修経費（駐車場使用料、負担金等）				18千円																																			
	・通信運搬費（電話、光ネットワーク、郵便）				550千円																																			
	・相談支援等公用車経費（借上料、保険料、修繕料等）				613千円																																			
・消耗品費等（コピー料、事務消耗品、チラシ印刷）				320千円																																				
・光熱水費、ガス、建物修繕				564千円																																				
・コピー機借上料				116千円																																				
・ソフトウェア使用料（ウイルス対策ソフト）				76千円																																				
・Web相談用クラウドサービス利用料				22千円																																				
・備品購入費（自立相談支援員用ノートPC6台更新）				832千円																																				
○過年度国庫支出金返還金				11千円						成果・課題	○来所による相談に加え、フリーダイヤルやLINE、庁内や関係機関及び地域事業所からの紹介や、総合相談会（5回開催）など、相談しやすい環境づくりにつとめた。 ○伴走型支援によって、各種制度へのつなぎに加え、17人を就労につなぐことができた。																													
・生活困窮者自立相談支援事業国庫負担金																																								

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																			
	項	01 社会福祉費	5千円		5千円	0千円	100.0 %																																					
	目	02 くらしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）																																			
	事業	02 離職者等支援事業					703千円																																					
まちづくり27の施策	14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 5千円																																								
目的	離職等により経済的に困窮し、住宅喪失又は住宅喪失のおそれのある方に対して住居の確保のために住居費を支給し、また、住居を喪失している方に対しては、緊急一時的に宿泊場所を提供するなど、再就労等に向けた居住支援を行う。																																											
主要な事務・事業の概要	○離職者住宅支援給付事業補助金（家賃給付） ・新規申請分（1件×1か月） ≪支援実績≫ <table><tr><td>年 度</td><td>利用人数</td><td>利用月数</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>18人</td><td>91か月</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>15人</td><td>56か月</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>4人</td><td>9か月</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>2人</td><td>5か月</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>1人</td><td>1か月</td></tr></table>		年 度	利用人数	利用月数	令和3年度	18人	91か月	令和4年度	15人	56か月	令和5年度	4人	9か月	令和6年度	2人	5か月	令和7年度	1人	1か月	5千円	○緊急一時生活支援事業 ≪支援実績≫ <table><tr><td>年 度</td><td>利用人数</td><td>利用日数</td></tr><tr><td>令和3年度</td><td>10人</td><td>135日</td></tr><tr><td>令和4年度</td><td>4人</td><td>44日</td></tr><tr><td>令和5年度</td><td>6人</td><td>47日</td></tr><tr><td>令和6年度</td><td>1人</td><td>9日</td></tr><tr><td>令和7年度</td><td>0人</td><td>0日</td></tr></table>					年 度	利用人数	利用日数	令和3年度	10人	135日	令和4年度	4人	44日	令和5年度	6人	47日	令和6年度	1人	9日	令和7年度	0人	0日
	年 度	利用人数	利用月数																																									
	令和3年度	18人	91か月																																									
令和4年度	15人	56か月																																										
令和5年度	4人	9か月																																										
令和6年度	2人	5か月																																										
令和7年度	1人	1か月																																										
年 度	利用人数	利用日数																																										
令和3年度	10人	135日																																										
令和4年度	4人	44日																																										
令和5年度	6人	47日																																										
令和6年度	1人	9日																																										
令和7年度	0人	0日																																										
			成果・課題	住宅支援給付補助金について、社会情勢の変動等の影響により、離職等で住居を失うおそれのあった方に家賃相当額を給付することで、求職活動中における安定した住まいの確保を支援することができた。																																								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	19,139千円		19,391千円	252千円	98.7 %			
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額			
	事業	03 就労準備支援事業						18,912千円	課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）
まちづくり27の施策	14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補	生活困窮者自立支援補助金（2/3）		12,703千円			
目的	「黒部の居場所ひまわり」を拠点に、直ちに一般就労することが困難な生活困窮者及び生活保護受給者に対して、就労への準備として生活習慣の形成や社会性などの基礎能力向上、事業所等での就労体験などによる技術や知識の習得及び個々の適正の見極め等を計画的かつ一貫して支援する。			国補	重層的支援体制整備事業交付金（3/4）		1,425千円			
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（自立相談支援員1人）		4,057千円		○その他事業運営経費					917千円
	○就労準備支援事業委託料		13,860千円		・相談支援等公用車経費（燃料費、登録手数料、保険料等）					228千円
	委託先：労働者協同組合労協センター事業団 京丹後支所				・施設維持管理費（修繕料、保険料、委託料等）					626千円
	・通所型訓練による就労体験事業				・消耗品費					37千円
	利用者数：12人（生活困窮9人、生活保護3人）				・使用料（ソフトウェア使用料1台）					19千円
	延べ利用者数：535人				・旅費					7千円
	・通所型訓練による居場所事業				○過年度国庫支出金返還金（生活困窮者自立支援補助金）					305千円
	利用者数：12人（生活困窮11人、生活保護1人）				・生活困窮者就労準備支援事業費等国庫補助金					
	延べ利用者数：591人									
	居場所セミナー開催 11回（延べ52人参加）									

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	1,049千円		1,187千円	138千円	88.3 %			
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）	
	事業	04 子どもの学習支援事業					1,377千円			
まちづくり27の施策	14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（1/2） 661千円						
目的	貧困の連鎖を防止するため、被保護世帯の子どもを中心に、学習支援員が対象世帯に直接訪問し、子どもの学習支援と併せて家庭の生活環境改善や養育支援を行う。									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（学習支援員4人）		1,031千円							
	○その他の経費									
	・ソフトウェア使用料（支援用PC ウィルス対応ソフト）		10千円							
	・消耗品費		8千円							
	《支援実績》									
	年 度	利用世帯数	小学生	中学生						延べ訪問回数
	令和3年度	3世帯	1人	2人						41回
	令和4年度	4世帯	5人	2人						61回
	令和5年度	5世帯	8人	2人						156回
	令和6年度	6世帯	9人	3人						165回
令和7年度	6世帯	7人	3人	185回	成果・課題	○支援員による個別訪問により、学習支援だけでなく基本的な生活習慣など継続的に支援することにより、学習や生活習慣の定着を促すことができた。 ○支援員が定期的に訪問することで、その存在が支援世帯や子どもの精神的な安定につながっている。 ○必要に応じてケース会議にも参加し、教育委員会など関係機関と連携をとりながら、引き続き子どもの将来の自立に向けた支援が必要である。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																							
	項	01 社会福祉費	8,330千円		8,331千円	1千円	99.9 %																									
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）																							
	事業	05 家計改善支援事業					8,331千円																									
まちづくり27の施策	14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進		主な財源	国補 生活困窮者自立支援補助金（2/3） 5,344千円																												
目的	生活困窮者の家計状況の把握、債務整理及び将来に向けたキャッシュフローの作成等を支援することにより、家計改善を図る。																															
主要な事務・事業の概要	○生活困窮者相談支援事業委託料 8,330千円																															
	生活福祉資金貸付事業や日常生活自立支援事業等の家計にまつわる事業を実施している京丹後市社会福祉協議会に委託を行い、生活困窮者に対して複数の事業と連携した対応を行うことで、再度、困窮状態へ陥らないように、貸付後の返済等を含めた家計の改善に向けた支援を行った。																															
	【実績】																															
	<table><tr><td></td><td>被保護者</td><td>他(自立相談)</td><td>合 計</td></tr><tr><td>R3</td><td>2 人</td><td>11 人</td><td>13 人</td></tr><tr><td>R4</td><td>3 人</td><td>34 人</td><td>37 人</td></tr><tr><td>R5</td><td>2 人</td><td>13 人</td><td>15 人</td></tr><tr><td>R6</td><td>2 人</td><td>12 人</td><td>14 人</td></tr><tr><td>R7</td><td>3 人</td><td>12 人</td><td>15 人</td></tr></table>					被保護者	他(自立相談)	合 計	R3	2 人	11 人	13 人	R4	3 人	34 人	37 人	R5	2 人	13 人	15 人	R6	2 人	12 人	14 人	R7	3 人	12 人	15 人				
	被保護者	他(自立相談)	合 計																													
R3	2 人	11 人	13 人																													
R4	3 人	34 人	37 人																													
R5	2 人	13 人	15 人																													
R6	2 人	12 人	14 人																													
R7	3 人	12 人	15 人																													
					成果・課題	○京丹後市社会福祉協議会へ委託することによって福祉サービス利用援助事業などとの連携がしやすく、利用が必要な方へつながることができた。 ○定期的に訪問するなど継続的に支援することで、利用者は家計の整理に取り組み、家計管理能力が向上した。 ○精神疾患や知的障害等を抱え、家計管理の能力に限界を感じる利用者もあり、他の制度と連携しながら実施する必要がある。																										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	49,417千円		49,585千円	168千円	99.6 %		課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）	
	目	02 暮らしとしごと寄り添い支援費					(参考)当初予算額				
	事業	06 重層的支援体制整備事業					49,798千円				
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源	国補	重層的支援体制整備事業交付金（3/4ほか）			19,053千円			
目的		重層的支援体制整備の実施にあたり、相談支援事業と地域づくり事業の強化及び新たな事業である「参加支援」、「アウトリーチ等を通じた継続的支援」、「多機関協働」を加え一体的に実施する。 また、住み慣れた地域で暮らし続けることができるよう、一般介護予防事業を通じて集う場の活性化を図る。		府補	重層的支援体制整備事業交付金（1/4ほか）			7,925千円			
				繰入金	介護保険事業特別会計繰入金			2,104千円			
				諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合連携強化事業補助金			15千円			
主要な事務・事業の概要	○新たな事業（参加支援事業、アウトリーチ、多機関協働）		33,650千円		○一般介護予防事業【所管：健康推進課】						182千円
	□参加支援事業		18,916千円		住み慣れた地域で自分らしい暮らしを最後まで継続することができるように、フレイル、サルコペニア、認知症、閉じこもりを予防・改善する介護予防体操を地域に普及する。						
	・委託料（市社協委託：地域共生ステーション関係）		18,916千円		・講師等謝金						138千円
	□アウトリーチ等を通じた継続的支援事業		14,138千円		・消耗品費、郵送料						44千円
	自ら支援を求めることが困難な人や支援が必要な状況であっても支援に結びついていない人を継続的に支援機関に結びつける支援を行った。				○生活支援体制整備事業【所管：長寿福祉課】						9,146千円
	・委託料（市社協委託：地域共生ステーション関係）		14,138千円		生活支援コーディネーター（地域支え合い推進員）を配置し、生活支援の担い手の養成、地域資源の開発、ネットワークの構築に向けた支援を行った。						
	□多機関協働事業		596千円		・委託料（市社協委託：地域共生ステーション関係）						9,146千円
	複雑化・複合化した解決が困難な相談を様々な機関が協働して対応できるよう、寄り添い支援総合サポートセンターが調整を行い支援会議を開催。										
	・研修会参加旅費、消耗品費、チラシ作成等		204千円		成果・課題	○新しいコミュニティと協働する地域共生ステーションにおいて、地域のアセスメントを行い各行政区単位のアセスメントシートを更新し、地域の課題の把握を行うとともに、福祉だけでなく地域の課題の共有を進め、地域福祉活動を進めることができた。 ○介護予防体操体験教室や出前講座による広報活動により新たに2地区増え、市内の32か所で介護予防体操が実施されており、地域での普及が進んでいる。					
	・相談支援等公用車経費		196千円								
・国システム利用PC購入（1台）、クラウドサービス利用料		196千円									
○地域づくりに向けた支援（生活困窮分）		6,439千円									
生活困窮者と地域がつながる等、住民による共助の取り組みの活性化を図った。											
・委託料（市社協委託：地域共生ステーション関係）		6,439千円									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																									
	項	01 社会福祉費	2,800千円		3,100千円	300千円	90.3 %																											
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課																									
	事業	01 通所費助成事業					4,122千円																											
まちづくり 27の施策		15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進	主な財源																															
目的		障害者の生活指導、職業訓練の場である共同作業所等への通所に必要な交通費を助成することで、利用者の経済的負担を軽減し、地域や社会への参加と自立を図る。																																
主要な事務・事業の概要	生活指導、職業訓練の場である共同作業所等の通所に必要な交通費を助成した。			<table><tr><th>法人名</th><th>施設名</th><th>延べ人数</th></tr><tr><td rowspan="2">社会福祉法人 久美の浜福祉会</td><td>つばさ</td><td>73人</td></tr><tr><td>あおぞら</td><td>13人</td></tr><tr><td rowspan="2">社会福祉法人 あみの福祉会</td><td>だるまハウス</td><td>38人</td></tr><tr><td>四つ葉ハウス</td><td>50人</td></tr><tr><td>株式会社 ビサイド</td><td>ビサイド</td><td>15人</td></tr><tr><td>特定非営利活動法人 つなぐ</td><td>つなぐ</td><td>91人</td></tr><tr><td>株式会社 NINE</td><td>ナイン舞鶴</td><td>13人</td></tr><tr><td>合同会社 舞どりーむ</td><td>デジタル工房幸福堂</td><td>4人</td></tr></table>						法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	73人	あおぞら	13人	社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	38人	四つ葉ハウス	50人	株式会社 ビサイド	ビサイド	15人	特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	91人	株式会社 NINE	ナイン舞鶴	13人	合同会社 舞どりーむ	デジタル工房幸福堂	4人
	法人名	施設名	延べ人数																															
	社会福祉法人 久美の浜福祉会	つばさ	73人																															
		あおぞら	13人																															
	社会福祉法人 あみの福祉会	だるまハウス	38人																															
		四つ葉ハウス	50人																															
	株式会社 ビサイド	ビサイド	15人																															
	特定非営利活動法人 つなぐ	つなぐ	91人																															
	株式会社 NINE	ナイン舞鶴	13人																															
	合同会社 舞どりーむ	デジタル工房幸福堂	4人																															
○共同作業所等通所費助成金 2,800千円																																		
助成対象：15施設 実人数61人（延べ787人）																																		
【参考】通所施設																																		
<table><tr><th>法人名</th><th>施設名</th><th>延べ人数</th></tr><tr><td rowspan="7">社会福祉法人 よさのうみ福祉会</td><td>峰山共同作業所</td><td>316人</td></tr><tr><td>みねやま作業所</td><td>51人</td></tr><tr><td>ゆうゆう作業所</td><td>104人</td></tr><tr><td>be-plus</td><td>2人</td></tr><tr><td>リフレかやの里</td><td>3人</td></tr><tr><td>ワークセンター花音</td><td>13人</td></tr><tr><td>障害児(者)多機能型生活支援センターろむ</td><td>1人</td></tr></table>			法人名	施設名	延べ人数	社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	316人	みねやま作業所	51人	ゆうゆう作業所	104人	be-plus	2人	リフレかやの里	3人	ワークセンター花音	13人	障害児(者)多機能型生活支援センターろむ	1人														
法人名	施設名	延べ人数																																
社会福祉法人 よさのうみ福祉会	峰山共同作業所	316人																																
	みねやま作業所	51人																																
	ゆうゆう作業所	104人																																
	be-plus	2人																																
	リフレかやの里	3人																																
	ワークセンター花音	13人																																
	障害児(者)多機能型生活支援センターろむ	1人																																
(右欄へ続く)																																		
成果・課題			障害者とその保護者の経済的負担を軽減することで、障害者の職業訓練と社会参加、自立の促進を支援することができた。																															

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	26,602千円		26,612千円	10千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	障害者福祉課	
	事業	02 障害者等手当支給事業					28,200千円		
まちづくり 27の施策	15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	特別障害者手当等給付費負担金（3/4）				19,951千円
		諸収入		過年度社会福祉費国庫負担金				63千円	
目的	常時介護の必要な在宅障害児者への手当支給により経済的負担を軽減し、障害者福祉の向上を図る。								
主要な事務・事業の概要	在宅重度障害児者への経済的支援策として、国制度である障害児福祉手当及び特別障害者手当を支給した。 ○障害児福祉手当給付費 6,124千円 給付額： 15,690円（令和7年2月～3月） 16,100円（令和7年4月～令和8年1月） 給付人数： 延べ423人 月平均受給者数：35人 ○特別障害者手当給付費 20,478千円 給付額： 28,840円（令和7年2月～3月） 29,590円（令和7年4月～令和8年1月） 給付人数： 延べ616人 月平均受給者数：51人 ※支給対象月：令和7年2月～令和8年1月（年4回支給） ただし、資格喪失児者に対しては随時支給。								
					成果・課題	手当の支給により、在宅重度障害児者の経済的負担の軽減を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																	
	項	01 社会福祉費	939千円		956千円	17千円	98.2 %		課	障害者福祉課																
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額																			
	事業	03 じん臓機能障害者通院交通費助成事業					1,499千円																			
まちづくり27の施策		15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進	主な財源																							
目的	人工透析治療を行うため継続的な通院を必要とする透析患者が、公共交通機関や自家用車を利用して通院する際の交通費を助成し、経済的負担の軽減を図る。																									
主要な事務・事業の概要	じん臓機能障害者に対して、通院に必要な交通費の一部を助成した。																									
	○じん臓機能障害者通院交通費助成金																									
	公共交通機関での通院費及び片道20kmを超える自家用車での通院実費（25円／km）のいずれかのうち、月10千円を上限として1／2を助成した。																									
	（単位：人、千円）																									
	<table><tr><td></td><td>峰山町</td><td>大宮町</td><td>網野町</td><td>丹後町</td><td>弥栄町</td><td>久美浜町</td><td>合 計</td></tr><tr><td>実人数</td><td>1</td><td>4</td><td>2</td><td>3</td><td>1</td><td>10</td><td>21</td></tr><tr><td>助成額</td><td>46</td><td>118</td><td>53</td><td>173</td><td>37</td><td>512</td><td>939</td></tr></table>										峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計	実人数	1	4	2	3	1	10	21	助成額
	峰山町	大宮町	網野町	丹後町	弥栄町	久美浜町	合 計																			
実人数	1	4	2	3	1	10	21																			
助成額	46	118	53	173	37	512	939																			
成果・課題	じん臓機能障害により慢性透析療法を必要とする方が安心して通院治療に専念できるよう、通院交通費に対し助成金を交付することで、経済的な負担の軽減を図ることができた。																									

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費					99.9 %		
	目	03 障害者福祉費	2,117,577千円		2,117,645千円	68千円	(参考)当初予算額	課	障害者福祉課
	事業	04 障害福祉サービス事業					2,085,613千円		
まちづくり27の施策		15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/2）、障害児通所給付費負担金（1/2）			1,077,035千円
目的	障害のある方が自立した日常生活及び社会生活を営むことができるよう、一人ひとりの状態に合った障害福祉サービスの給付その他の支援を行い、障害者福祉を推進する。				府負	介護給付・訓練等給付費負担金（1/4）			498,134千円
					府負	障害児通所給付費負担金（1/4）			28,648千円
					府補	障害者福祉サービス等利用支援事業費補助金（1/2）			1,251千円
					府補	医療的ケア児等福祉サービス利用等促進事業補助金（1/2）			134千円
					諸収入	過年度社会福祉費国庫負担金			15,172千円
主要な事務・事業の概要	○扶助費			2,109,822千円		＜高額及び障害者福祉サービス等利用支援費支給関係＞ 延べ利用者数			
	・各種サービスを利用するための介護給付費等			2,106,917千円					
	介護給付費等関係 延べ利用者数及び給付実績								
	訪問系（居宅介護等）		1,515人	132,284千円					
	日中活動系（生活介護）		3,215人	815,045千円					
	日中活動系（訓練等）		2,572人	383,280千円					
	短期入所		548人	29,727千円					
	施設入所支援		1,154人	221,124千円					
	共同生活援助		1,395人	290,343千円					
	療養介護（医療費除く）		151人	44,225千円					
	計画相談		2,972人	50,996千円					
	児童発達支援		1,062人	31,715千円					
	放課後等デイサービス		1,485人	72,382千円					
	保育所等訪問支援		7人	161千円					
	障害児相談支援		637人	10,314千円					
	特定障害者特別給付費		2,549人	24,051千円					
	特例介護給付費等		34人	1,270千円					
	・サービス利用に係る利用者負担を軽減する支援給付費等			2,905千円		成果・課題	○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律及び児童福祉法に基づくサービス支給決定・給付を実施することができた。 ○利用者の経済状況に応じた負担軽減を図ることができた。 ○ニーズに応じた給付ができるよう事業所と一層の連携を図りながら人材確保に努めていく必要がある。		

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	24,168千円		24,187千円	19千円	99.9 %			
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	05 自立支援医療事業					23,630千円			
まちづくり 27の施策		15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進	主な財源	国負	障害者自立支援医療費負担金（1/2）			11,594千円		
目的		障害児者等が障害を除去又は軽減するための医療を受けた際の必要な医療費を公費で負担し、経済的負担の軽減を図る。		府負	障害者自立支援医療費負担金（1/4）			5,950千円		
				府補	障害者自立支援医療特別対策事業費補助金（1/2）			171千円		
主要な事務・事業の概要	身体障害者の障害を除去又は軽減するために行われる更生医療費、身体に障害がある又は障害が残ると思われる病気にかかっている18歳未満の児童が手術等により治療効果が期待できるものについて育成医療費、療養介護サービス利用者に対して療養介護医療費をそれぞれ給付した。 また、更生医療の対象とならない在宅酸素療法等を受けている身体障害者に対して、特別対策事業として医療費の一部を助成した。			○自立支援医療特別対策事業給付費 342千円 対象医療：在宅酸素療法、ぼうこう又は直腸の機能障害となった原因疾患等 認定人数：4人						
				○自立支援医療（更生医療）審査支払事務手数料 16千円						
				○自立支援医療（育成医療）審査支払事務手数料 1千円						
				○自立支援医療（療養介護医療）審査支払事務手数料 7千円						
	○自立支援医療（更生医療）給付費 13,038千円 対象医療：人工関節置換術、ペースメーカー移植術、人工透析等 認定人数：110人			○自立支援医療特別対策事業審査支払事務手数料 1千円						
○自立支援医療（育成医療）給付費 31千円 対象医療：唇顎口蓋裂等 認定人数：2人										
○自立支援医療（療養介護医療）給付費 10,732千円 対象医療：障害支援区分が区分5以上の重症心身障害者等の医療費 認定人数：13人			成果・課題		医療費の負担を軽減することにより、障害児者が安心して治療に専念し、日常生活能力の回復、改善を図ることができた。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																						
	項	01 社会福祉費	21,033千円		21,040千円	7千円	99.9 %																								
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課																						
	事業	06 補装具事業					13,441千円																								
まちづくり27の施策	15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国負	障害児者補装具給付費負担金（1/2）			6,720千円																							
				府負	障害児者補装具給付費負担金（1/4）			5,258千円																							
目的	身体障害者及び身体障害児の身体機能を補完又は代替する補装具を給付し、日常生活及び社会生活を支援する。																														
主要な事務・事業の概要	○障害児者補装具給付費				21,033千円																										
	身体障害児者の補装具の購入、修理に係る費用を支給																														
	※ 基準額の原則1割が自己負担であるが、身体障害児の補装具に係る自己負担分については、市の独自施策として全額公費で負担																														
	<table><tr><td rowspan="2"></td><td colspan="2">購入</td><td colspan="2">修理</td></tr><tr><td>件数</td><td>給付費</td><td>件数</td><td>給付費</td></tr><tr><td>障害者</td><td>65件</td><td>10,603千円</td><td>24件</td><td>717千円</td></tr><tr><td>障害児</td><td>30件</td><td>7,706千円</td><td>10件</td><td>2,007千円</td></tr><tr><td>合計</td><td>95件</td><td>18,309千円</td><td>34件</td><td>2,724千円</td></tr></table>					購入		修理		件数	給付費	件数	給付費	障害者	65件	10,603千円	24件	717千円	障害児	30件	7,706千円	10件	2,007千円	合計	95件	18,309千円	34件	2,724千円			
	購入		修理																												
	件数	給付費	件数	給付費																											
障害者	65件	10,603千円	24件	717千円																											
障害児	30件	7,706千円	10件	2,007千円																											
合計	95件	18,309千円	34件	2,724千円																											
	【主な給付内容】				成果・課題	補装具の購入及び修理に係る費用を支給することによって、障害児者の経済的負担が軽減され、生活上の不便さの緩和や身体的条件を改善することができた。																									
	●障害児：姿勢保持装置、車椅子等 ●障害者：電動車椅子、車椅子、補聴器、義足等																														

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部			
	項	01 社会福祉費	145,228千円		146,081千円	853千円	99.4 %					
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額					
	事業	07 地域生活支援事業						159,307千円				
まちづくり 27の施策		15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			19,992千円			
目的		障害のある方が地域の中で自立した日常生活又は社会生活を営むことができるよう、総合的に支援する体制をつくり、障害者福祉の向上を図る。			国補	重層的支援体制整備事業交付金（1/2）			8,793千円			
					府補	きょうと地域連携交付金			2,020千円			
					府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			9,997千円			
					府補	重層的支援体制整備事業交付金（1/4）			4,532千円			
					繰入金	ふるさと応援基金繰入金			11,500千円			
主要な事務・事業の概要	○市町村必須事業				92,066千円				○その他事業		4,901千円	
	事業名等		決算額	延べ件数等		事業名等		決算額	延べ件数等			
	地域活動支援センター事業（3事業所）		40,996千円	利用人数：1,149人		福祉タクシー利用券・ガソリン費用助成事業等経費		4,308千円	交付者数：1,031人			
	日常生活用具給付事業		17,869千円	交付件数：1,492件		福祉機器等購入費助成金		264千円	交付件数：1件			
	障害者相談支援事業（2事業所）		18,920千円	相談件数：1,604件		身体障害者自動車改造費助成事業		100千円	交付件数：1件			
	移動支援事業（9事業所）		4,605千円	利用時間：1,687時間		京都府北部障害者歯科診療所運営費等補助金		229千円	患者数：39人			
	※屋外での移動困難な方への外出支援											
	障害児通学支援事業（聾学校への通学支援）		8,367千円	利用回数：922回								
	成年後見制度利用等経費		1,309千円	利用人数：5人								
	※後見人への報酬助成											
○市町村任意事業				48,261千円				成果・課題		○地域生活支援事業の各種事業を社会福祉法人等に委託し、障害特性に応じて障害福祉サービスと組み合わせることで、総合的かつ切れ目のない支援を実施し、サービス提供量の確保に努めた。 ○相談事業について、関係機関と連携を図りながら必要な支援につなげることができた。 ○各種実施事業について、ニーズに応じたサービス提供の一層の充実が図られるよう事業所と連携しながら進める必要がある。		
事業名等		決算額	延べ件数等									
障害者・児童日中一時支援事業（12事業所）		47,432千円	利用回数：10,281回									
身体障害者訪問入浴事業（1事業所）		796千円	利用回数：50回									
精神障害者社会復帰事業経費		33千円	開催回数：12回									
※歯科教室、運動教室等												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	7,561千円		7,563千円	2千円	99.9 %		
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	障害者福祉課	
	事業	08 障害者就労支援事業					7,787千円		
まちづくり 27の施策	15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				3,780千円
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				3,500千円
目的	障害者の就労等を支援する事業を実施し、就労及び雇用の促進を図る。 また、障害者の就労意欲の向上と市民との協働を図るための情報発信の場として、障害者施設製品常設店の運営を支援する。								
主要な事務・事業の概要	○障害者雇用促進リーフレット作成 商工会周知 2,150枚、関係機関等配架 350枚		5千円	○障害者施設製品販売支援事業補助金 7,500千円					
	○障害者職場実習促進事業補助金 実習を受け入れた企業や実習生のサポートを行うジョブコーチを配置する社会福祉法人及び実習生に対して奨励金を支給した。		56千円	【クリエイティブショップくりくりの主な取組】					
	・福祉事業所奨励金 1社会福祉法人（11日間） ・実習生実習奨励金 3人（11日間）		40千円 16千円	・企画展の開催 開店12周年を迎え、お客様への日頃の感謝と仲間の作った作品を知っていただき、障害者理解を広げる機会として12周年祭を開催した。また、季節ごとの各種イベントを企画し、集客に繋げることができた。					
	○障害者施設製品販売支援事業補助金		7,500千円	・市内外への広報啓発の取組 新聞や市フェイスブック、ケーブルテレビ等で広報することにより、集客率アップに繋げることができた。また、ふるさと納税制度を活用し、市内外へ広く周知する取組を展開した。					
				成果・課題	○障害者職場実習を通じて、障害者の就労意欲と職場適応能力の向上支援を行い、一般就労につなげる等障害者の自立を図ることができた。 ○常設販売店への運営支援を通じて、障害者施設製品の情報発信と障害者の就労意欲の向上の一助とすることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	01 社会福祉費	7,165千円		7,198千円	33千円	99.5 %				
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課		
	事業	09 心のバリアフリー促進事業					7,455千円				
まちづくり27の施策		15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進	主な財源	国補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/2）			1,623千円			
目的		障害の特性を理解し、地域や職場、学校等において合理的配慮の提供や手話の普及が広がるように障害者理解の促進と啓発事業を実施する。 また、障害の特性に合ったコミュニケーション支援を行うことにより障害者の社会参加を促進する。		府補	障害者地域生活支援事業費補助金（1/4）			810千円			
				府補	軽・中等度難聴児支援事業費補助金（1/2）			46千円			
主要な事務・事業の概要	○心のバリアフリー促進事業		15千円		○重度障害児者入院時コミュニケーション支援事業					13千円	
	・心バリアフリー リーフレット1種類 障害者理解の啓発用リーフレットを障害者週間（令和7年12月3日～令和7年12月9日）の際に配付した。				障害児者の入院時に、コミュニケーション支援員を派遣					派遣回数：2回	
	○手話通訳者設置事業		5,980千円		○全国手話言語市区長会会費					10千円	
	手話通訳専任職員を設置し、聴覚障害者等の相談支援等を実施 相談：377件、関係機関との連絡調整等の支援：82件 啓発事業：26件、聞こえの相談会：6回				○難聴高齢者補聴器購入費助成金					340千円	
成果・課題	○手話奉仕員・要約筆記奉仕員養成事業		475千円		○軽・中等度難聴児補聴器購入費等助成金					92千円	
	要約筆記者養成講座 全12回（8月29日～12月5日） 受講者：11人（10人修了）				補装具費支給制度に該当しない18歳未満の児童に対する補聴器購入等の費用の一部を助成（助成件数：3件）						
	○手話通訳者・要約筆記奉仕員派遣事業		240千円		○意思疎通支援事業を委託することにより、病院等で聴覚障害者の情報保障を確保することができた。 ○平日及び日中に活動できる手話通訳者等が少なく、支援調整が困難な状況であるため、養成講座への参加促進による人材育成を図る必要がある。 ○障害者理解の促進を目的に、障害のある方の作品や作業所等の活動内容を紹介する展示会を市内商業施設で開催し、障害者理解を深める機会となった。						
	聴覚言語障害者が医療機関等に出向く場合や社会活動に参加する場合等に意思疎通支援として手話通訳者等を派遣した。 派遣回数：38回										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	20,524千円		20,878千円	354千円	98.3 %			
	目	03 障害者福祉費					(参考)当初予算額	課	障害者福祉課	
	事業	50 障害者福祉一般経費				23,462千円				
まちづくり 27の施策	15 地域の中で共に生きる障害者福祉の推進		主な財源	国補	障害者総合支援事業費補助金				1,100千円	
				国委	特別児童扶養手当事務委託金				12千円	
				諸収入	デジタル基盤改革支援補助金				3,960千円	
目的	障害者福祉に関する事業を行う上で、必要となる事務経費及び障害支援区分認定審査会の運営等に関する経費									
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（事務補助員1人）		4,271千円		○使用料及び賃借料					2,272千円
	・報酬、職員手当及び共済費等				・ソフトウェア使用料					1,401千円
	○障害支援区分等認定審査会（12回開催）		960千円		・障害者授産施設等運営用地賃借料					811千円
	・報酬、費用弁償（5人）				・行事参加等有料道路通行料、駐車場使用料					60千円
	○身体・知的障害者等相談員経費		431千円		○丹後視力障害者福祉センター後援会費					200千円
	・謝金、ボランティア保険料（15人）				○国保連伝送用運用サポート負担金					9千円
	○旅費（研修会等）		17千円		○国保連伝送用保守負担金					42千円
	○需用費		212千円		○過年度国庫支出金返還金					1,052千円
	・事務用品、バス燃料費				・障害者自立支援医療費国庫負担金					853千円
	○役務費		1,771千円		・障害児入所給付費等国庫負担金					184千円
成果・課題	・障害支援区分医師意見書作成料（159件）等		825千円		・地域生活支援事業補助金					15千円
	・通信運搬費（ガバメントクラウド利用料、審査会資料等）		946千円							
	○委託料		9,287千円							
	・障害福祉システム更新委託料等		6,160千円							
	・システム保守業務委託料（G-TrustⅡ・国保連）		2,159千円							
	・障害支援区分認定調査委託料（119件）		914千円							
	・バス運転委託料、情報機器リサイクル業務委託料		54千円							
○障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援する法律で定められている審査会について、利用者へのサービス提供が滞ることがないように適切に運営することができた。 ○地方自治体情報システムの標準化に伴う障害者福祉システムの改修及びガバメントクラウド環境を整えたことにより、障害福祉サービスに関する事務を円滑に行うことができた。										

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																																										
	項	01 社会福祉費	25,615千円		25,623千円	8千円	99.9 %																																																																												
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																																																																										
	事業	01 敬老祝い事業					26,959千円																																																																												
まちづくり27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債） 12,200千円																																																																															
目的		高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に対して感謝するため、行政区等の団体が行う敬老祝い事業に対して補助金を交付するとともに、最高齢・長寿・米寿・喜寿の各対象者に対し、祝い品を贈呈する。																																																																																	
主要な事務・事業の概要	○敬老祝い品贈呈		1,543千円		<table><tr><th colspan="5">敬老祝い事業</th><th colspan="3">祝い品贈呈者数</th></tr><tr><th rowspan="2">町別</th><th rowspan="2">対象者数 (75歳以上)</th><th rowspan="2">参加者数※</th><th colspan="2">率（％）</th><th rowspan="2">新 100歳</th><th rowspan="2">米寿</th><th rowspan="2">喜寿</th></tr><tr><th>R7年度</th><th>R6年度</th></tr><tr><td>峰山</td><td>2,437</td><td>2,437</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>9</td><td>103</td><td>225</td></tr><tr><td>大宮</td><td>1,898</td><td>1,898</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>10</td><td>71</td><td>172</td></tr><tr><td>網野</td><td>2,982</td><td>2,982</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>13</td><td>129</td><td>230</td></tr><tr><td>丹後</td><td>1,271</td><td>1,271</td><td>100.0</td><td>99.7</td><td>5</td><td>59</td><td>142</td></tr><tr><td>弥栄</td><td>1,163</td><td>1,163</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>3</td><td>39</td><td>96</td></tr><tr><td>久美浜</td><td>2,288</td><td>2,288</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>13</td><td>71</td><td>185</td></tr><tr><td>合 計</td><td>12,039</td><td>12,039</td><td>100.0</td><td>100.0</td><td>53</td><td>472</td><td>1,050</td></tr></table> ※祝い品配布人数を参加者数に含めて集計					敬老祝い事業					祝い品贈呈者数			町別	対象者数 (75歳以上)	参加者数※	率（％）		新 100歳	米寿	喜寿	R7年度	R6年度	峰山	2,437	2,437	100.0	100.0	9	103	225	大宮	1,898	1,898	100.0	100.0	10	71	172	網野	2,982	2,982	100.0	100.0	13	129	230	丹後	1,271	1,271	100.0	99.7	5	59	142	弥栄	1,163	1,163	100.0	100.0	3	39	96	久美浜	2,288	2,288	100.0	100.0	13	71	185	合 計	12,039	12,039	100.0	100.0	53	472	1,050
	敬老祝い事業									祝い品贈呈者数																																																																									
	町別	対象者数 (75歳以上)	参加者数※	率（％）		新 100歳	米寿	喜寿																																																																											
				R7年度	R6年度																																																																														
	峰山	2,437	2,437	100.0	100.0	9	103	225																																																																											
	大宮	1,898	1,898	100.0	100.0	10	71	172																																																																											
	網野	2,982	2,982	100.0	100.0	13	129	230																																																																											
	丹後	1,271	1,271	100.0	99.7	5	59	142																																																																											
	弥栄	1,163	1,163	100.0	100.0	3	39	96																																																																											
	久美浜	2,288	2,288	100.0	100.0	13	71	185																																																																											
合 計	12,039	12,039	100.0	100.0	53	472	1,050																																																																												
・最高齢（2人）祝い品及び祝い状		34千円																																																																																	
・長寿（新100歳）祝い品及び祝い状		233千円																																																																																	
・米寿（88歳）祝い品		392千円																																																																																	
・喜寿（77歳）祝い品		865千円																																																																																	
・最高齢及び長寿祝い表彰状筆耕料		19千円																																																																																	
○敬老祝い事業補助金		24,072千円																																																																																	
補助対象団体：行政区（又は2以上の地区連合体）、老人福祉施設																																																																																			
補助対象年齢：75歳以上（補助金2千円／人）																																																																																			
<table><tr><th>開催団体等</th><th>峰山</th><th>大宮</th><th>網野</th><th>丹後</th><th>弥栄</th><th>久美浜</th><th>合計</th></tr><tr><td rowspan="2">行政区</td><td>会開催</td><td>25</td><td>6</td><td>8</td><td>9</td><td>12</td><td>6</td><td>66</td></tr><tr><td>会非開催</td><td>9</td><td>9</td><td>12</td><td>18</td><td>3</td><td>2</td><td>53</td></tr><tr><td colspan="2">老人福祉施設</td><td>1</td><td>3</td><td>5</td><td>2</td><td>3</td><td>4</td><td>18</td></tr><tr><td colspan="2">合計</td><td>35</td><td>18</td><td>25</td><td>29</td><td>18</td><td>12</td><td>137</td></tr></table>		開催団体等	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計	行政区	会開催	25	6	8	9	12	6	66	会非開催	9	9	12	18	3	2	53	老人福祉施設		1	3	5	2	3	4	18	合計		35	18	25	29	18	12	137																																							
開催団体等	峰山	大宮	網野	丹後	弥栄	久美浜	合計																																																																												
行政区	会開催	25	6	8	9	12	6	66																																																																											
	会非開催	9	9	12	18	3	2	53																																																																											
老人福祉施設		1	3	5	2	3	4	18																																																																											
合計		35	18	25	29	18	12	137																																																																											
成果・課題		敬老事業の支援や喜寿、米寿、新100歳及び最高齢者の方に対する祝い品の贈呈を通し、高齢者の長寿を祝い、長年にわたる社会貢献に感謝の意を表することができた。																																																																																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	108,419千円		108,843千円	424千円	99.6 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	02 老人保護措置事業					131,479千円		
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	負担金 老人福祉施設措置費負担金 24,863千円					
目的	老人福祉法に基づき、原則65歳以上の方で、家族や住居の状況、経済的理由等のため、在宅生活継続が困難な方に対し、養護老人ホーム等への入所措置を行うことにより、生きがいを持てる健全で、安心して過ごせる生活を保障する。								
主要な事務・事業の概要	○一般事務費 9千円 ・有料道路通行料（施設退所立会い） 9千円								
	○養護老人ホーム等入所措置費 108,410千円 入所施設：2施設 入所者数：45人（R8.3.31現在）								
	・事務費	69,269千円	成果・課題	○在宅生活の継続が困難な高齢者について、養護老人ホームへの入所により、不安の解消・生活改善につなげることができた。 ○入所対象者の生活状況等を正確に把握し、適切な入所措置を引き続き行う必要がある。					
	・一般生活費	32,827千円							
	・冬期加算	452千円							
	・期末加算	225千円							
	・被服費加算	55千円							
	・介護保険料加算	41千円							
	・介護サービス利用者負担加算	4,774千円							
	・入所者処遇特別加算	767千円							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額		不用額		執行率		部	健康長寿福祉部										
	項	01 社会福祉費	10,360千円		10,897千円		537千円		95.0 %													
	目	04 高齢者福祉費							(参考)当初予算額		課	長寿福祉課										
	事業	04 福祉有償運送運営助成事業							10,897千円													
まちづくり27の施策	04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 5,113千円 きょうと地域連携交付金																		
目的	福祉有償運送の実施を支援することにより、在宅の高齢者や障害者が住み慣れた地域で自立した生活を営めるよう外出を支援し、地域福祉の向上を図る。																					
主要な事務・事業の概要	○福祉有償運送事業補助金		10,360千円		■実績内訳（令和8年3月末現在） （単位：人、回）																	
	公共交通機関を利用することが困難な高齢者及び障害者に対して移送サービスを提供する福祉有償運送の実施を支援																					
	・実施主体：京丹後市社会福祉協議会																					
	<table><tr><td>①利用料収入</td><td>2,504千円</td></tr><tr><td>②支出合計</td><td>12,864千円</td></tr><tr><td>（内訳）人件費</td><td>8,423千円</td></tr><tr><td>事務費</td><td>71千円</td></tr><tr><td>事業費</td><td>4,370千円</td></tr><tr><td>福祉有償運送事業費補助金（②－①）</td><td>10,360千円</td></tr></table>		①利用料収入	2,504千円	②支出合計	12,864千円	（内訳）人件費	8,423千円	事務費	71千円	事業費	4,370千円	福祉有償運送事業費補助金（②－①）	10,360千円								
	①利用料収入	2,504千円																				
	②支出合計	12,864千円																				
	（内訳）人件費	8,423千円																				
	事務費	71千円																				
	事業費	4,370千円																				
	福祉有償運送事業費補助金（②－①）	10,360千円																				
・事業実績：																						
<table><tr><td></td><td>R5</td><td>R6</td><td>R7</td></tr><tr><td>実利用者数</td><td>81人</td><td>63人</td><td>50人</td></tr><tr><td>延べ利用回数</td><td>4,576回</td><td>3,781回</td><td>2,574回</td></tr></table>			R5	R6	R7	実利用者数	81人	63人	50人	延べ利用回数	4,576回	3,781回	2,574回									
	R5	R6	R7																			
実利用者数	81人	63人	50人																			
延べ利用回数	4,576回	3,781回	2,574回																			
成果・課題	補助金の交付により、事業者が行う高齢者や障害者の日常生活の移動支援の取組に寄与することができた。																					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	15千円		15千円	0千円	100.0 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	05 生活管理指導事業					56千円		
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源						
目的		生活習慣などにより社会生活の適応が困難な高齢者に対して、養護老人ホーム等で短期間の宿泊を通じて日常生活の指導及び支援をすることにより、自立した生活を助長する。							
主要な事務・事業の概要	生活習慣の改善が必要など一時的に在宅生活が困難な高齢者に対し、養護老人ホーム等で短期間の宿泊サービスを提供した。 ○生活管理指導委託料（2,080円×7日） ・利用者数：1人（生活保護世帯以外の世帯） ・利用日数：7日 ・利用施設：養護老人ホーム満寿園 【事業概要】 利用対象者：概ね65歳以上、介護保険法の介護給付及び 予防給付の対象にならない方 利用者負担：1日につき1,730円（生活保護世帯を除く）を、 直接、委託事業所に納付			15千円	成果・課題	一時的に在宅生活が困難な高齢者に対して、短期宿泊サービスを提供することを通じて生活習慣や体調管理を行うことで、自立した生活を継続できるよう支援することができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	9,036千円		11,000千円	1,964千円	82.1 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	06 介護サービス利用負担軽減事業					11,000千円		
まちづくり 27の施策	04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主 な 財 源	府補 介護保険事業費補助金（3/4）					6,776千円
目的	社会福祉法人等により被保険者に提供される介護保険サービス等の利用者負担について、低所得等の一定基準を満たしている生活困窮者の負担を軽減し、高齢者福祉の増進を図る。								
主要な 事務・事業の 概要	○社会福祉法人等利用者負担軽減助成金 9,036千円								
	低所得で生計の維持が困難である者の介護保険サービスの利用について、社会福祉法人等が利用者負担額の軽減を行う場合に、その軽減した額の一部を助成 助成金交付法人数：14法人 軽減対象認定者数：延べ418人								
					成果・課題	社会福祉法人等の支援を行うことで、低所得で生計が困難な要介護者等の介護サービス費等の負担軽減を図ることができた。			

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 社会福祉費	6,449千円		6,450千円	1千円	99.9 %		
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課
	事業	07 高齢者福祉施設整備助成事業					6,450千円		
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源						
目的		法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図るため、社会福祉法人の施設整備に係る借入金等の返済の一部を助成する。							
主要な事務・事業の概要	○老人福祉施設建設資金借入金償還補助金		6,449千円						
補助対象： 社会福祉法人が整備する社会福祉施設に係る事業 （平成28年度までの借入れ）									
補助内容： 整備に係る資金の元金又は利子の一部									
				成果・課題	資金借入により基盤整備を行った社会福祉法人に対し、借入金の返済の一部を補助することにより、法人経営の安定と老人福祉施設の充実を図ることができた。				

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部												
	項	01 社会福祉費	8,853千円		8,911千円	58千円	99.3 %														
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課												
	事業	08 網野高齢者すこやかセンター施設管理事業					8,540千円														
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	使用料 網野高齢者すこやかセンター使用料 3,447千円																	
目的		在宅の高齢者に対して生きがいや健康づくりの場として、サークル活動などの会場及び入浴施設の提供を図る。																			
主要な事務・事業の概要	網野高齢者すこやかセンターの維持管理・運営を行った。			■年間施設利用者数（延べ人数）																	
	○施設管理業務委託料 3,231千円 委託先：木津連合区			<table><tr><td></td><td>令和5年度</td><td>令和6年度</td><td>令和7年度</td></tr><tr><td>入浴利用者数</td><td>16,136 人</td><td>16,348 人</td><td>17,366 人</td></tr><tr><td>貸館利用者数</td><td>2,138 人</td><td>2,418 人</td><td>1,733 人</td></tr></table>							令和5年度	令和6年度	令和7年度	入浴利用者数	16,136 人	16,348 人	17,366 人	貸館利用者数	2,138 人	2,418 人	1,733 人
		令和5年度	令和6年度	令和7年度																	
	入浴利用者数	16,136 人	16,348 人	17,366 人																	
貸館利用者数	2,138 人	2,418 人	1,733 人																		
○施設維持管理経費 5,622千円			<参考>入浴料（税込）（1回）（令和8年度から）																		
・需用費（消耗品費、燃料費、光熱水費及び修繕料） 5,479千円			市内に居住する60歳以上の者 190円 （250円）																		
・電話代 66千円			市内に居住する60歳未満の者 290円 （380円）																		
・委託料（消防設備点検、空調点検） 77千円			市外に居住する者 590円 （600円）																		
			成果・課題	○入浴やレクリエーションの場を提供することで、高齢者の生きがいや健康づくりに貢献することができた。 ○利用者の増加等による収入の増加を図るなど、より一層の効果的・効率的な運営に努めていく必要がある。																	

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	1,089,443千円		1,100,111千円	10,668千円	99.0 %			
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課	
	事業	09 介護保険事業特別会計繰出金					1,055,679千円			
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	国負	介護保険低所得者保険料軽減負担金（1/2）				34,796千円	
				府負	介護保険低所得者保険料軽減負担金（1/4）				17,398千円	
目的		介護保険事業及び地域支援事業の円滑な運営を行うため、一般会計から介護保険給付費の負担相当分（法定割合12.5%）と要介護認定、賦課徴収業務等に係る事務費相当分及び低所得者の第1号保険料軽減分、介護予防事業や包括的支援事業・任意事業に要する経費を繰り出す。								
主要な事務・事業の概要	○介護保険事業特別会計繰出金				1,089,443千円	【地域支援事業分】				116,165千円
	【介護保険事業分】				973,278千円	・介護予防事業分				20,502千円
	・介護給付費相当分				796,545千円	介護予防・生活支援サービス事業分・一般介護予防事業分				事業費×12.5%
	・事務費相当分				20,920千円	・介護予防事業 基準額超過分・対象外経費分				86,509千円
	（一般管理費＋賦課徴収費＋趣旨普及費）×100%					（基準超過事業費＋対象外経費）×100%				
	・認定事務費相当分				87,217千円	・包括的支援事業分				5,394千円
	（介護認定審査会費＋認定調査等費）×100%					包括的支援、任意事業、社会保障充実分				事業費×19.25%
	・低所得者保険料軽減相当分				68,596千円	・包括的支援事業 対象外経費分				3,760千円
						対象外経費×100%				

予算科目目	款	03 民生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																																																																																																																																														
	項	01 社会福祉費	70,000千円	70,000千円	0千円	100.0 %																																																																																																																																																
	目	04 高齢者福祉費				(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																																																																																																																																														
	事業	10 介護サービス事業特別会計繰出金				70,000千円																																																																																																																																																
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源																																																																																																																																																			
目的		介護サービス事業特別会計へ繰出金を支出することにより、京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ及び京丹後市網野デイサービスセンターの安定した運営を図る。																																																																																																																																																				
主要な事務・事業の概要	○介護サービス事業特別会計繰出金		70,000千円		・京丹後市網野デイサービスセンター																																																																																																																																																	
	【参考】＜介護サービス事業特別会計収支＞																																																																																																																																																					
	歳 入		66,756千円		<table><tr><td rowspan="4">歳入</td><td>サービス収入</td><td>56,096千円</td></tr><tr><td>府支出金</td><td>313千円</td></tr><tr><td>諸収入</td><td>102千円</td></tr><tr><td>計</td><td>56,511千円</td></tr><tr><td rowspan="4">歳出</td><td>施設管理費</td><td>13,351千円</td></tr><tr><td>サービス事業費</td><td>59,540千円</td></tr><tr><td>公債費</td><td>1,588千円</td></tr><tr><td>計</td><td>74,479千円</td></tr><tr><td colspan="2">収 支 ②</td><td colspan="2">△ 17,968千円</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2">歳 入</td><td colspan="2">66,756千円</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2">歳 出</td><td colspan="2">152,532千円</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2">(うち借入金償還元金・利子 70,386千円)</td><td colspan="2"></td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2">収支差</td><td colspan="2">△ 85,776千円</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2">・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ</td><td colspan="2"></td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2"><table><tr><td></td><td>項目</td><td>金額</td></tr><tr><td rowspan="4">歳入</td><td>使用料及び手数料</td><td>26千円</td></tr><tr><td>諸収入</td><td>3,619千円</td></tr><tr><td>市債</td><td>6,600千円</td></tr><tr><td>計</td><td>10,245千円</td></tr><tr><td rowspan="3">歳出</td><td>施設管理費</td><td>9,255千円</td></tr><tr><td>公債費</td><td>68,798千円</td></tr><tr><td>計</td><td>78,053千円</td></tr><tr><td colspan="2">収 支 ①</td><td colspan="2">△ 67,808千円</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="4" rowspan="10"><table><tr><td rowspan="2">成果・課題</td><td></td></tr><tr><td></td></tr></table></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr></table></td></tr></table>				歳入	サービス収入	56,096千円	府支出金	313千円	諸収入	102千円	計	56,511千円	歳出	施設管理費	13,351千円	サービス事業費	59,540千円	公債費	1,588千円	計	74,479千円	収 支 ②		△ 17,968千円						歳 入		66,756千円						歳 出		152,532千円						(うち借入金償還元金・利子 70,386千円)								収支差		△ 85,776千円						・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ								<table><tr><td></td><td>項目</td><td>金額</td></tr><tr><td rowspan="4">歳入</td><td>使用料及び手数料</td><td>26千円</td></tr><tr><td>諸収入</td><td>3,619千円</td></tr><tr><td>市債</td><td>6,600千円</td></tr><tr><td>計</td><td>10,245千円</td></tr><tr><td rowspan="3">歳出</td><td>施設管理費</td><td>9,255千円</td></tr><tr><td>公債費</td><td>68,798千円</td></tr><tr><td>計</td><td>78,053千円</td></tr><tr><td colspan="2">収 支 ①</td><td colspan="2">△ 67,808千円</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="4" rowspan="10"><table><tr><td rowspan="2">成果・課題</td><td></td></tr><tr><td></td></tr></table></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr></table>			項目	金額	歳入	使用料及び手数料	26千円	諸収入	3,619千円	市債	6,600千円	計	10,245千円	歳出	施設管理費	9,255千円	公債費	68,798千円	計	78,053千円	収 支 ①		△ 67,808千円										<table><tr><td rowspan="2">成果・課題</td><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>				成果・課題																																						
	歳入	サービス収入	56,096千円																																																																																																																																																			
		府支出金	313千円																																																																																																																																																			
		諸収入	102千円																																																																																																																																																			
		計	56,511千円																																																																																																																																																			
	歳出	施設管理費	13,351千円																																																																																																																																																			
		サービス事業費	59,540千円																																																																																																																																																			
		公債費	1,588千円																																																																																																																																																			
		計	74,479千円																																																																																																																																																			
	収 支 ②		△ 17,968千円																																																																																																																																																			
歳 入		66,756千円																																																																																																																																																				
歳 出		152,532千円																																																																																																																																																				
(うち借入金償還元金・利子 70,386千円)																																																																																																																																																						
収支差		△ 85,776千円																																																																																																																																																				
・京丹後市やさか老人保健施設ふくじゅ																																																																																																																																																						
<table><tr><td></td><td>項目</td><td>金額</td></tr><tr><td rowspan="4">歳入</td><td>使用料及び手数料</td><td>26千円</td></tr><tr><td>諸収入</td><td>3,619千円</td></tr><tr><td>市債</td><td>6,600千円</td></tr><tr><td>計</td><td>10,245千円</td></tr><tr><td rowspan="3">歳出</td><td>施設管理費</td><td>9,255千円</td></tr><tr><td>公債費</td><td>68,798千円</td></tr><tr><td>計</td><td>78,053千円</td></tr><tr><td colspan="2">収 支 ①</td><td colspan="2">△ 67,808千円</td><td colspan="4"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td><td colspan="4" rowspan="10"><table><tr><td rowspan="2">成果・課題</td><td></td></tr><tr><td></td></tr></table></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr><tr><td colspan="2"></td><td colspan="2"></td></tr></table>			項目	金額	歳入	使用料及び手数料	26千円	諸収入	3,619千円	市債	6,600千円	計	10,245千円	歳出	施設管理費	9,255千円	公債費	68,798千円	計	78,053千円	収 支 ①		△ 67,808千円										<table><tr><td rowspan="2">成果・課題</td><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>				成果・課題																																																																																																																	
	項目	金額																																																																																																																																																				
歳入	使用料及び手数料	26千円																																																																																																																																																				
	諸収入	3,619千円																																																																																																																																																				
	市債	6,600千円																																																																																																																																																				
	計	10,245千円																																																																																																																																																				
歳出	施設管理費	9,255千円																																																																																																																																																				
	公債費	68,798千円																																																																																																																																																				
	計	78,053千円																																																																																																																																																				
収 支 ①		△ 67,808千円																																																																																																																																																				
				<table><tr><td rowspan="2">成果・課題</td><td></td></tr><tr><td></td></tr></table>				成果・課題																																																																																																																																														
成果・課題																																																																																																																																																						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																			
	項	01 社会福祉費	4,192千円		4,224千円	32千円	99.2 %																					
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																			
	事業	11 福祉施設等指定管理施設運営事業					4,253千円																					
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	市債 過疎地域持続的発展特別事業債（過疎債77ト） 1,900千円																								
目的	民間の強みや特性を活かした指定管理者の管理運営により、利用者へ質の高い多様なサービスを提供するとともに、地域に根差した高齢者の拠点施設機能を果たすことを目的とする。																											
主要な事務・事業の概要	○網野社会参加交流ハウス		2,030千円		<table><tr><th rowspan="2">施設名称</th><th colspan="3">延べ利用者数</th></tr><tr><th>令和5年度</th><th>令和6年度</th><th>令和7年度</th></tr><tr><td>網野社会参加交流ハウス</td><td>5,548人</td><td>5,032人</td><td>4,673人</td></tr><tr><td>弥栄生きがい交流センター</td><td>552人</td><td>657人</td><td>622人</td></tr><tr><td>合 計</td><td>6,100人</td><td>5,689人</td><td>5,295人</td></tr></table>					施設名称	延べ利用者数			令和5年度	令和6年度	令和7年度	網野社会参加交流ハウス	5,548人	5,032人	4,673人	弥栄生きがい交流センター	552人	657人	622人	合 計	6,100人	5,689人	5,295人
	施設名称	延べ利用者数																										
		令和5年度	令和6年度	令和7年度																								
	網野社会参加交流ハウス	5,548人	5,032人	4,673人																								
	弥栄生きがい交流センター	552人	657人	622人																								
合 計	6,100人	5,689人	5,295人																									
指定管理者：社会福祉法人あみの福祉会																												
指定管理期間：令和3～7年度（5年間）																												
・需用費（消耗品費、修繕料）		43千円																										
・水道開栓手数料		1千円																										
・網野社会参加交流ハウス指定管理委託料		1,759千円																										
・工事請負費（囲炉裏の間ルームエアコン設置工事）		214千円																										
・備品購入費（掃除機1台）		13千円																										
○弥栄生きがい交流センター		2,162千円																										
指定管理者：社会福祉法人あしぎぬ福祉会																												
指定管理期間：令和3～7年度（5年間）																												
・家電リサイクル料		18千円																										
・弥栄生きがい交流センター指定管理委託料		2,144千円																										
成果・課題	○高齢者拠点施設として、地域の高齢者福祉事業に活用されるなど、高齢者福祉の増進を図ることができた。 ○第2次京丹後市公共施設等総合管理計画に基づき、施設の適正管理を図るとともに、見直しを進めていく必要がある。																											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部																				
	項	01 社会福祉費	18,050千円		18,050千円	0千円	100.0 %																						
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課																				
	事業	16 シルバ-人材センター運営助成事業					18,050千円																						
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源																										
目的	シルバー人材センターを支援することにより、高齢者の就業機会の確保をはじめ、就業及びボランティア活動等による高齢者の社会参加を図り、地域の活性化と福祉の向上を目指す。																												
主要な事務・事業の概要	○京丹後市シルバー人材センター運営費補助金		18,000千円		【事業概要】労働者派遣事業、福祉・家事援助サービス事業等																								
	○京都府シルバー人材センター連合会賛助会員会費		50千円																										
					<table><tr><td></td><td>令和5年度末</td><td>令和6年度末</td><td>令和7年度末</td></tr><tr><td>正 会 員 数</td><td>694人</td><td>718人</td><td>680人</td></tr><tr><td>就 業 延 べ 人 員</td><td>60,378人</td><td>61,205人</td><td>57,012人</td></tr><tr><td>受 注 件 数</td><td>4,322件</td><td>3,933件</td><td>3,821件</td></tr><tr><td>契 約 金 額</td><td>322,744千円</td><td>337,281千円</td><td>325,852千円</td></tr></table>						令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末	正 会 員 数	694人	718人	680人	就 業 延 べ 人 員	60,378人	61,205人	57,012人	受 注 件 数	4,322件	3,933件	3,821件	契 約 金 額	322,744千円	337,281千円	325,852千円
	令和5年度末	令和6年度末	令和7年度末																										
正 会 員 数	694人	718人	680人																										
就 業 延 べ 人 員	60,378人	61,205人	57,012人																										
受 注 件 数	4,322件	3,933件	3,821件																										
契 約 金 額	322,744千円	337,281千円	325,852千円																										
					成果・課題	○補助金の交付により、高齢者の就業機会の確保、生きがいづくりや社会参加の機会確保につなぐことができた。 ○高齢者の健康維持や福祉の増進だけでなく、生活支援の担い手として活躍していただけるよう、市とシルバー人材センターで引き続き情報共有や連携を進めていくとともに、会員確保に向けた取組を進めていく必要がある。																							

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部									
	項	01 社会福祉費	494千円		509千円	15千円	97.0 %											
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課									
	事業	17 百才活力社会推進事業					776千円											
まちづくり 27の施策	04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金			130千円										
				諸収入	京丹後市百寿人生のレシピ 販売代金			63千円										
目的	百歳になってもそれぞれの才能を活かして、学習や趣味、仕事、ボランティアなど、やりたい分野で生涯現役で活躍できる「百才活力社会」の推進に向けて、取組を進める。																	
主要な事務・事業の概要	＜働くシニア応援プロジェクトの実施＞ 【所管：長寿福祉課】 271千円				＜京丹後百寿人生のレシピ第4版 販売＞ 【所管：健康推進課】 223千円													
	○ シニア向け求人情報掲載チラシの作成				「～今に生きる～京丹後百寿人生のレシピ第4版（令和4年6月発行）」を増版及び出版社記号（書籍JANコード）の更新													
	・ 印刷製本費（求人情報掲載チラシの作成） 271千円				・ 印刷製本費（第4版増版 1,000冊） 212千円													
	<table><tr><td>発行時期</td><td>7月</td><td>11月</td></tr><tr><td>発行部数</td><td>19,500部</td><td>19,500部</td></tr><tr><td>掲載企業数</td><td>12社</td><td>7社</td></tr></table>		発行時期	7月	11月	発行部数	19,500部	19,500部	掲載企業数	12社	7社	・ 出版社記号更新手数料 11千円						
発行時期	7月	11月																
発行部数	19,500部	19,500部																
掲載企業数	12社	7社																
	※ 全戸配付、関係機関の窓口に配架																	
					成果・課題	○シニア向け求人情報掲載チラシの発行により、シニアの就業機会の確保に寄与することができた。 ○「百寿人生のレシピ」により、「長寿のまち」を市内外に広く発信することができた。												

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部							
	項	01 社会福祉費	3,464千円		3,629千円	165千円	95.4 %									
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課							
	事業	18 高齢者外出支援事業					3,929千円									
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	国補	物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金				1,100千円							
				諸収入	高齢者外出支援チケット販売代金				1,973千円							
目的		国の臨時交付金を活用し、免許返納等により自動車や原付バイクの運転ができなくなったり、身体機能低下により外出機会が減少する高齢者（満75歳以上）の外出支援の一助とするため、タクシー代割引チケットの販売を行う。														
主要な事務・事業の概要	【チケットの種類】 外出支援チケット（1冊4,000円綴りを2,000円で販売） 病院・買い物・公共機関等へ行くために利用したタクシー運賃の支払いに利用できるチケット				○消耗品費（チラシ印刷用紙の購入）					26千円						
	【対象者】 満75歳以上の方				○印刷製本費（外出支援チケット作成）					52千円						
	【交付要件等】				○高齢者外出支援助成金					3,386千円						
	<table><tr><td>交付要件</td><td>購入冊数</td></tr><tr><td>本人・世帯とも住民税非課税</td><td rowspan="2">3冊</td></tr><tr><td>住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり</td></tr><tr><td>住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし</td><td>2冊</td></tr></table>				交付要件	購入冊数	本人・世帯とも住民税非課税	3冊	住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり	住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし	2冊	■チケットの販売・使用状況				
交付要件	購入冊数															
本人・世帯とも住民税非課税	3冊															
住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定あり																
住民税課税世帯に属し、購入者本人に介護認定なし	2冊															
【利用期限】 購入日から1年間				販売冊数：996冊（購入者数：453人）												
【販売期間】 令和7年4月1日～令和8年3月31日				使用枚数：8,466枚												
【販売場所】 長寿福祉課又は各市民局（峰山市民局は除く）				（内訳） 令和6年度購入分：1,840枚												
				令和7年度購入分：6,626枚												
				成果・課題	購入者の多くが運転免許証を保有していない方であり、外出や社会参加の促進に寄与することができた。											

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	3,507千円		3,682千円	175千円	95.2 %			
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課	
	事業	19 地域包括支援センター事業					4,055千円			
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	国補	重層的支援体制整備事業交付金	578千円				
				府補	重層的支援体制整備事業交付金	289千円				
				繰入金	介護保険事業特別会計繰入金	352千円				
				諸収入	デジタル基盤改革支援補助金	1,925千円				
				諸収入	市有自動車損害共済金	36千円				
目的		高齢者が住み慣れた地域で安心して生活することができるよう支援を行う地域包括支援センターの運営にかかる経費								
主要な事務・事業の概要	○需用費		601千円	○委託料						2,723千円
	・事務用品		27千円	・地域包括支援センターシステム保守委託料						798千円
	・燃料費（公用車4台分）		243千円	・地域包括システム改修対応（TRY-X標準化対応）						1,925千円
	・修繕料（公用車車検代等）		331千円							
	○役務費		153千円	○使用料及び賃借料						13千円
	・通信運搬費		20千円	・駐車場使用料						2千円
	・自動車登録手数料		59千円	・有料道路通行料						11千円
	・ケアプランデータ連携システムライセンス料		21千円	○公課費（自動車重量税）						17千円
	・自動車損害保険料		53千円							
				成果・課題	○相談支援を通じて、住み慣れた地域での高齢者の暮らしを支えることができた。 ○相談内容が複雑化する中、介護事業者や関係者との連携強化を図っていく必要がある。					

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 社会福祉費	3,557千円		3,953千円	396千円	89.9 %			
	目	04 高齢者福祉費					(参考)当初予算額	課	長寿福祉課	
	事業	50 高齢者福祉一般経費					3,624千円			
まちづくり 27の施策	04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補	きょうと地域連携交付金				188千円	
高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に進めるための経費並びに大阪・関西万博出展にかかる経費				諸収入	認知症あんしん補償事業保険料返還金				39千円	
				諸収入	過年度地域密着型サービス施設整備事業費補助金返還金				25千円	
目的										
主要な事務・事業の概要	○需用費			291千円		○委託料				1,232千円
	・消耗品費（事務用品）			5千円		・自家用電気工作物保安管理業務委託料（旧松風苑分）				141千円
	・光熱水費（旧松風苑分）			192千円		・旧松風苑施設管理委託料（草刈り、庭木剪定等）				127千円
	・修繕料（旧松風苑分）			94千円		・認知症AI相談システム運用委託料				964千円
	○役務費			382千円		○大阪・関西万博出展費用（認知症AI相談システム）				364千円
	・総合賠償補償保険料（認知症あんしん補償事業） 加入者数：140人			382千円		・職員旅費、有料道路通行料、駐車場使用料				263千円
	○使用料及び賃借料			516千円		・動画作成費用				100千円
	・グループホームかえで（弥栄町溝谷）の土地借上料			436千円		・動産総合保険				1千円
	・浜詰ふれあいセンター（網野町浜詰）の土地借上料			80千円		【出展内容】 出展ブース：関西パビリオンの京都ブース 出展期間：令和7年9月15日～21日（テーマ：いのち、多様性の未来）				
	○償還金、利子及び割引料			772千円		成果・課題	○高齢者福祉施設の管理及び高齢者福祉事務事業を円滑に進めることができた。 ○大阪・関西万博の認知症AI相談システムの出展を通じ、本市の先進的な認知症の取組について、広く発信することができた。 ○旧松風苑について、今後の利活用について検討していく必要がある。			
	・過年度国庫支出金返還金（低所得者保険料軽減負担金）			498千円						
	・過年度府支出金返還金（低所得者保険料軽減負担金）			249千円						
	・過年度府支出金返還金（地域密着型サービス等整備等助成事業補助金）			25千円						

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部		
	項	03 生活保護費	104,383千円		105,096千円	713千円	99.3 %				
	目	01 生活保護総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課		
	事業	02 生活保護運営管理事業					25,533千円				
まちづくり 27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源	国負	生活困窮者自立支援負担金（3/4）				6,061千円		
目的 生活保護法に基づく事務を円滑に行い、生活保護費支給事業を適切に運用する。				国補	生活困窮者自立支援補助金（2/3又は1/2）				2,982千円		
				国委	社会保障生計調査委託金（10/10）				52千円		
				諸収入	一時支援資金貸付金元金収入				180千円		
				諸収入	デジ 外基盤改革支援補助金（10/10）				1,197千円		
			諸収入	市有自動車損害共済金				140千円			
主要な事務・事業の概要	○生活保護運営に関する総務費			100,568千円		○生活保護システム更新・改修経費					3,815千円
	・生活保護嘱託医報酬（1人）			981千円		・システム更新委託料（標準化対応）					1,197千円
	・生計調査協力謝金			41千円		・システム改修委託料（制度改正対応）					2,618千円
	・就労支援員任用経費（1人・週4日）			3,692千円							
	・健康管理支援員任用経費（1人・週3日）			3,051千円							
	・面接相談員任用経費（1人・週4日）			3,648千円							
	・職員旅費（会議・研修）、有料道路通行料等			291千円							
	・参考図書や事務用品等の購入費、封筒等の印刷費			276千円							
	・診療報酬と介護保険報酬の審査支払、資産調査手数料			319千円							
	・生活保護システムサービス利用料			7,473千円							
	・健康管理支援システム利用サービス料			1,089千円							
	・要介護認定調査、診療報酬明細書点検の委託料			106千円							
	・生活保護申請者への一時支援資金貸付金（11件）			180千円							
	・医療扶助オンライン資格確認等運営負担金			42千円							
・その他経費（修繕料、通信運搬費等）			1,371千円								
・過年度国庫支出金返還金（生活保護費負担金等）			78,008千円								

予算科目	款	03 民生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部				
	項	03 生活保護費	668,610千円		669,291千円	681千円	99.8 %						
	目	02 生活保護扶助費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課				
	事業	01 生活保護費支給事業					690,374千円						
まちづくり27の施策		14 誰ひとり置き去りにしない、支え合い助け合う地域福祉の推進	主な財源	国負	生活保護費負担金（3/4）				537,311千円				
目的	生活保護法に基づき、経済的に困窮している世帯に対して、健康で文化的な最低限度の生活を保障するための経済的援助を行うとともに、自立のための支援を行う。			府負	生活保護費負担金（府費負担となる扶助費支給額の1/4）				94千円				
				諸収入	生活保護費返還金				3,697千円				
				諸収入	生活保護費徴収金				140千円				
			諸収入	生活保護費認定徴収金				902千円					
主要な事務・事業の概要	生活保護受給世帯に対し、生活保護法による保護の基準に基づいて算定した扶助費を支給した。						○扶助費 668,610千円						
	※各年度とも3月末日の数値（単位：世帯、人）						【生活保護費の支給状況】（単位：千円）						
			R3	R4	R5	R6	R7	R3	R4	R5	R6	R7	
	峰山	世帯数	114	108	108	107	112	生活扶助費	167,413	160,444	165,266	157,522	162,274
		人数	150	146	136	137	142	住宅扶助費	88,957	83,425	87,003	86,040	89,699
	大宮	世帯数	59	64	70	72	73	教育扶助費	2,458	2,151	2,294	2,674	2,408
		人数	76	76	81	83	86	介護扶助費	14,797	14,297	12,512	13,929	12,900
	網野	世帯数	106	97	97	99	88	医療扶助費	428,045	403,542	385,049	367,733	393,457
		人数	145	144	146	151	130	生業扶助費	4,156	4,602	3,023	1,935	1,481
	丹後	世帯数	23	23	18	21	19	施設事務費	3,473	6,011	4,160	4,621	4,808
		人数	34	33	26	28	23	葬祭扶助費等	2,880	1,252	1,134	1,973	1,583
	弥栄	世帯数	25	24	22	23	27	合計	712,179	675,724	660,441	636,427	668,610
		人数	33	32	27	28	31	成果・課題	○経済的給付にとどまらず、生活保護受給者それぞれの状況に応じた自立に向け、各関係機関と連携し支援を行った。 ○生活保護費の支給を適正に行い、健康で文化的な最低限度の生活を保障するとともに、自立を助長することができた。 ○生活保護受給者に対し、引き続き適正な保護を実施するとともに、自立を促進する必要がある。				
	久美浜	世帯数	33	40	41	41	41						
		人数	40	57	59	61	53						
	合計	世帯数	360	356	356	363	360						
		人数	478	488	475	488	465						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額	最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	934千円	1,831千円	897千円	51.0 %		
	目	01 保健衛生総務費				(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	02 保健センター管理運営事業				951千円		
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源					
目的		市民の疾病予防、健康の保持増進を図るため、総合検診後の結果報告会、健康指導及び健康教育等の保健活動の拠点となる保健センター（大宮・網野）の適切な管理を行う。						
主要な事務・事業の概要	○大宮保健センター、網野保健センターの維持管理経費		934千円	【利用実績】				
	・燃料費（ガス代）		61千円	大宮保健センター				
	・光熱水費（電気、水道）		653千円	網野保健センター				
	・役務費（ごみ持込処理手数料、廃家電処理手数料）		35千円	丹後保健センター				
	・施設清掃委託料（網野保健センター）		185千円	弥栄保健センター				
参考	繰越明許費を除いた最終予算額		951千円	久美浜保健センター				
	実質的な予算執行率		98.2%	※網野・大宮以外の保健センターについては、維持管理費を各庁舎の管理事業から支出				
■令和8年度への繰越事業								
・網野保健センター空調取替工事		令和8年4月完了	880千円					
				成果・課題	施設の適正な維持管理を行うことで、各種保健事業が円滑に実施することができ、健康増進の拠点として貢献することができた。			

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	373千円		409千円	36千円	91.1 %			
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課	
	事業	03 自殺対策事業					409千円			
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	府補 自殺対策事業補助金（1/2、2/3）226千円					
目的		「第3次京丹後市自殺のないまちづくり行動計画」に基づき、自殺ゼロの実現を目指し、悩んでいる人に気づき、聴き、つなぎ、見守る支援者を養成するとともに、普及啓発、相談支援等「生きることの包括的支援」として自殺対策の取組を推進する。								
主要な事務・事業の概要	○こころ・いのち・つなぐ手（ゲートキーパー）研修会		158千円		○自殺ゼロ実現推進協議会46千円					
	年5回、延べ参加者88人				第3次自殺のないまちづくり行動計画の取組結果の情報共有及び意見交換を実施。関係機関との連携強化を図った。					
	・研修会講師謝金（3回分）		118千円		京丹後市自殺ゼロ実現連絡会議（6月6日実施）					
	・消耗品費		40千円		京丹後市自殺ゼロ実現推進協議会（7月4日実施）					
		（チラシ・相談窓口一覧及びゲートキーパー手帳用紙代他）				・謝金28千円				
○街頭啓発		75千円		・費用弁償14千円						
商業施設での街頭啓発（9月・3月に計5か所で実施）				・通信運搬費（委員案内及び資料送付郵送料）4千円						
啓発グッズの配架（市民局・図書館・商工会他） 配布数：1,360部										
・消耗品費（相談窓口一覧用紙、ポケットティッシュ他）		56千円								
・印刷製本費（ポケットティッシュ用リーフレット）		19千円								
○若年層対策事業		94千円								
SOSの出し方や相談窓口を掲載したクリアファイル及びリーフレットを作成・配付（小6、中3、高3 計1,400部作成）										
・消耗品費（クリアファイル他）		94千円		成果・課題						
				○商業施設での街頭啓発や各施設等で啓発グッズを配架し、多くの市民に自殺予防についての普及・啓発を図ることができた。 ○「こころ・いのち・つなぐ手研修会」を定期的の実施することで、地域で見守る支援者を増やすことができた。 ○自殺者数については目標であるゼロには至ってはいないが、今後も引き続き関係機関との連携を強化しながら総合的な自殺対策を推進し、自殺者ゼロを目指す。						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	11,102千円		11,198千円	96千円	99.1 %		
	目	01 保健衛生総務費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	50 保健衛生総務一般経費					11,872千円		
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源					
目的		会計年度任用職員任用経費のほか、研修旅費、各種負担金などを確保し、保健事業を円滑かつ適切に実施するための体制を整える。							
主要な事務・事業の概要	【所管：健康推進課】		6,554千円						
	○会計年度任用職員経費（育休代替：保健師1人）		4,031千円		○返還金		410千円		
	※任用期間：令和7年4月～令和8年3月				・過年度感染症予防事業等国庫負担（補助）金返還金				
	○職員旅費		48千円						
	○需用費		122千円		【所管：子育て支援課】		4,548千円		
	・消耗品費（書籍）		49千円		○会計年度任用職員経費（育休代替：栄養士1人）		3,714千円		
	・修繕費（車検代）		73千円		※任用期間：令和7年6月～令和8年3月				
	○役務費		31千円		○職員旅費		10千円		
	・自動車登録手数料、損害保険料ほか				○需用費		49千円		
	○使用料及び賃借料		9千円		・消耗品費（クリアファイル他）				
	・有料道路通行料				○返還金		775千円		
	○公課費		9千円		・過年度母子保健衛生費国庫補助金返還金				
	・自動車重量税								
	○負担金、補助及び交付金		1,894千円		成果・課題	○会計年度任用職員を配置したことにより、保健事業の実施体制が維持でき、業務を円滑に遂行することができた。 ○保健師、栄養士が各種研修会に参加することで、専門知識及び実務能力の向上が図られ、保健事業の質の向上につながり、住民対応や事業運営に活かすことができた。			
	・京都府栄養士会負担金		29千円						
	・京都府市町村保健師協議会負担金		37千円						
	・市町村栄養士研究会負担金		4千円						
・健康管理システム共同利用負担金		1,781千円							
・国保連合会電算システム改修負担金（带状疱疹分）		43千円							

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	1,280千円		1,381千円	101千円	92.6 %		課	健康推進課
	目	02 保健対策費					(参考)当初予算額			
	事業	01 健康づくり・食育推進事業				1,544千円				
まちづくり27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	府補	健康増進事業費等補助金（2/3）				142千円	
				府補	消費・安全対策交付金（1/2以内）				435千円	
				諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合連携強化事業補助金（10/10）				11千円	
目的		健康づくり推進員、食生活改善推進員の育成や養成を行い、健康づくりや食育の普及啓発にかかる地域活動等を支援することにより、市民主体の健康づくり及び生涯を通じた食育を推進する。								
主要な事務・事業の概要	＜健康づくり事業＞		332千円							
	①健康づくり推進員（第8期健康づくり推進員の育成・活動支援）				○食文化伝承推進事業（22回）					
	・健康運動指導士謝金		32千円		・食生活改善推進員謝金					258千円
	・健康づくり推進員活動謝礼報償物品（3千円×39人）		117千円		・印刷製本費（資料）					29千円
	・消耗品費（用紙代）		27千円		○お魚料理教室（小学校5年生）5回【所管：海業水産課】					
	・通信運搬費（研修会案内等の郵便代ほか）		24千円		・漁協婦人部講師謝金					84千円
	②歩いてすすめる健康づくり（Let'sチャレンジウォーキング）				・消耗品費（材料代ほか）					78千円
	・消耗品費（啓発グッズほか）		132千円		・包丁研磨手数料					40千円
	＜食育推進事業＞		948千円		○子どもクッキング（小学校低学年3回・高学年1回）【所管：子育て支援課】					
	①施策の方向Ⅰ「共食・朝ごはん・食事バランス」				・栄養士謝金					19千円
	○食生活改善推進員養成講座(6回)、育成研修(5回)、伝達講習会(12回)				・消耗品費（案内用紙代ほか）					5千円
	・食生活改善推進員謝金		72千円		○保育所、こども園での栽培体験【所管：こども未来課】					
	・消耗品費（研修会材料代ほか）		66千円		・消耗品費（苗代ほか）					155千円
	○朝ごはんノート等印刷代（保育所・こども園児童）【所管：こども未来課】				成果・課題	○健康づくり推進員の地域活動支援により、市民が身近な場所で健康づくりの知識等を学ぶ機会となり、地域主体の健康づくり活動に繋がった。また「Let'sチャレンジウォーキング」では、府のアプリの活用等により、幅広い世代の参加が促進され、運動習慣の定着と健康意識の向上につながった。 ○食生活改善推進員の養成により会員が10名増え、地域の食育活動の担い手が強化された。また学校や地域での食育支援や普及啓発により、幅広い世代への食に関する正しい知識の浸透と健康的な食生活への意識向上につながった。				
・印刷製本費（朝ごはんノート、ランチョンマット）		103千円								
②施策の方向Ⅱ「地産地消・食文化」										
○食育推進ネットワーク（関係機関・13団体、庁内7課で構成）										
・委員報償、費用弁償		37千円								
・通信運搬費（会議案内代）		2千円								

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	1,352千円		1,406千円	54千円	96.1 %		課
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額		
	事業	01 健康相談・指導事業					1,585千円		
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	府補 健康増進事業費等補助金（2/3） 171千円					
目的	生活習慣病をはじめとした疾病予防、介護予防などを目的に、健康に関する知識の普及啓発及び健康相談・健康教育を行い、早世予防、健康寿命の延伸、健康の保持増進を図る。								
主要な事務・事業の概要	検診結果をもとに、疾病の予防、健康の保持・増進、医療機関の早期受診につながるよう保健・栄養指導を実施			○歯周病疾患予防事業 20千円					
	○結果報告会 1,278千円			【実施内容】リーフレットを用いた啓発及び保健指導を実施					
	【実施内容】令和7年6月24日～令和7年10月8日（45日間）			【実績】対象者994人中 対面指導：51人 郵送：943人					
	10会場（施設及び健康推進課）で、814人に個別指導を実施			・消耗品費（指導用パンフレット）					
	【内訳】結果報告会：696人、窓口返却：105人、訪問：13人			○骨粗しょう症予防対策事業 11千円					
	・消耗品費（結果処理及び結果報告会に係る事務用品ほか） 89千円			京都府国保連合会より骨健康度測定器を借用し、骨の健康度測定を実施					
	・印刷製本費（各種封筒、リーフレット印刷） 212千円			集団教室では、骨粗しょう症の予防のための食事や運動に関する講話を実施					
	・通信運搬費（検診結果郵送料） 977千円			【集団教室】 18人参加					
	○生活習慣病対策事業（慢性腎臓病（CKD）重症化予防事業） 43千円			【個別健康相談】 25人参加					
	【実施内容】4回の個別相談日を設定し、1人1時間の保健指導を実施			・消耗品費（チラシ用紙代ほか） 4千円					
	【実績】対象者305人中29人利用			・通信運搬費（骨健康度測定器運搬代） 7千円					
	・消耗品費（個別指導用パンフレット） 10千円			成果・課題	○結果報告会への来所困難者や、郵送での結果返却希望者が多いため、日時調整や訪問による結果説明を行い、対面での返却機会を確保した。その結果、保健指導実施率が向上し、生活習慣改善行動の促進につながった。				
・通信運搬費（案内・連絡票郵送料） 33千円			○要医療判定者及びがん検診要精密検査者に受診を勧奨し、医療機関の受診につなげた。						
			○健康への関心が低い者へのアプローチとして、検診会場でのパネル掲示等を通じ、生活習慣病予防の知識の普及と、特定保健指導の必要性を周知する必要がある。						

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	107,026千円		107,029千円	3千円	99.9 %		課	健康推進課
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額			
	事業	03 総合検診事業					113,972千円			
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	国補	感染症予防事業費等補助金（1/2）				37千円	
目的	がんや疾病の早期発見と、健康管理の意識を高めることにより、生活習慣病の予防につなげる。			府補	健康増進事業費等補助金（1/2、10/10）				2,728千円	
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				20,000千円	
				繰入金	再編交付金事業基金繰入金				20,000千円	
				諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金（2/3、10/10）				8,359千円	
				諸収入	京都府後期高齢者医療広域連合長寿・健康増進事業費補助金				96千円	
主要な事務・事業の概要	健康診査と各種がん検診を同時に受けることのできる総合検診として、地域の体育館等で実施した。				○事業費					107,026千円
	【実施期間】 令和7年5月14日～8月20日（11会場：39日間）				・消耗品費（資料等用紙代、感染症対策物品等）					91千円
	【検診項目及び受診者数】				・燃料費（送迎車ガソリン代）					1千円
					・印刷製本費（申込書、検診案内チラシ、案内等封筒）					281千円
					・通信運搬費（申込書、受診票、精検未受診者勧奨通知等）					2,144千円
					・検診委託料					104,085千円
					・バス運転委託料					13千円
					・総合検診会場設営委託料					408千円
					・会場使用料					3千円
					成果・課題	○要精密検査者に対し、個別面談や電話による受診確認、文書による受診勧奨を継続的に実施し、医療機関への受診につなげることで、がんや前がん状態の早期発見・早期治療の推進に寄与した。 ○今後も効果的な受診勧奨の方法を検討し、総合検診及びがん検診の受診率向上を図るとともに、要精密検査者への継続的な受診勧奨を実施することで、精密検査の受診促進及び疾病の重症化予防につなげていく必要がある。				
	※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上									
	※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上									

※40～74歳の国保加入者は、特定健診対象者として国保特別会計で計上

※前立腺がん検診受診者のうち国保加入者は、国保特別会計で計上

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部	
	項	01 保健衛生費	100,181千円		100,190千円	9千円	99.9 %		課	健康推進課
	目	05 予防費					(参考)当初予算額			
	事業	01 成人・高齢者の予防接種事業					106,248千円			
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主 な 財 源	国負	予防接種健康被害給付費負担金				1,146千円	
				繰入金	ふるさと応援基金繰入金				36,600千円	
				繰入金	再編交付金事業基金繰入金				6,400千円	
目的		高齢者等における感染の恐れがある疾病について、感染予防、重症化予防、病気のまん延防止を図るため、予防接種法に定める予防接種を実施する。								
主要な事務・事業の概要	○需用費		654千円		○償還金利子及び割引料					1,640千円
	・消耗品費（予診票用紙、各種消耗品ほか）		132千円		・令和6年度新型コロナウイルスワクチン接種体制確保事業費国庫補助金返還金					
	・印刷製本費（案内チラシ、封筒、予診票印刷）		522千円		459千円					
	○役務費		1,015千円		・令和6年度新型コロナ定期接種ワクチン確保事業に対する助成金返還金					
	・通信運搬費（予防接種案内通知郵送料）		991千円		1,181千円					
	・手数料（国保連合会審査支払手数料）		24千円							
	○委託料		95,235千円							
	・高齢者インフルエンザ予防接種委託料		39,782千円							
	・高齢者新型コロナワクチン予防接種委託料		27,259千円							
	・高齢者肺炎球菌ワクチン予防接種委託料		1,946千円							
	・高齢者带状疱疹ワクチン予防接種委託料		26,190千円							
	・接種不適格者分委託料 ※予診のみ		58千円							
	（インフルエンザ13人、コロナ2人、肺炎球菌1人、带状疱疹3人）									
	○扶助費		1,637千円							
	・予防接種給付費（償還払い）		491千円							
	・予防接種健康被害給付金		1,146千円							
	※予防接種による健康被害が認定された者への医療費・医療手当									
				成果・課題	○予防接種法に基づくB類疾病の予防接種は、法令上、接種勧奨の義務はないものの、広報や案内通知の実施により、予防接種に対する理解促進と接種の機会を確保することができた。 ○市が実施する予防接種の種類が増加し、接種スケジュールも複雑化していることから、市民に対して正確な情報提供を行うとともに、医療機関との継続的な情報共有及び連携を強化し、適正な接種の実施を推進する必要がある。					

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 保健衛生費	2,252千円		2,252千円	0千円	100.0 %		
	目	05 予防費					(参考)当初予算額	課	健康推進課
	事業	03 感染症予防対策事業					2,482千円		
まちづくり 27の施策	04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり		主な財源	繰入金 ふるさと応援基金繰入金 2,200千円					
目的	新型コロナウイルス感染症対策として必要な環境を整え、感染防止を図る。								
主要な事務・事業の概要	○新型コロナウイルス感染症対策用物品購入経費 2,230千円 ・消耗品費（手指消毒液、ハンドソープ等） 2,230千円								
	○次亜塩素酸水運搬事業 22千円 ・手数料（事業廃止に伴う施設設備撤去手数料） 22千円								
					成果・課題	感染症対策用物品の購入を行うことで、市民及び職員の安全・安心を確保しつつ、業務を継続することができた。			

予算科目	款	07 商工費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	健康長寿福祉部
	項	01 商工費	4,284千円		4,473千円	189千円	95.7 %		
	目	01 商工総務費					(参考)当初予算額	課	生活福祉課（寄り添い支援総合サポート室）
	事業	02 消費生活推進事業					4,344千円		
まちづくり27の施策		08 防犯・交通安全対策の推進		府補	消費者行政活性化事業費補助金（人件費定額、1/2）				1,090千円
目的	消費生活相談員を配置し、情報化社会の進展、在宅やオンライン利用時間の拡大により、巧妙化、増加する消費者トラブルや多重債務等の相談に対し、弁護士等の専門家と連携して助言やあっせんなどの対応を行う。また、消費生活学習グループの地域見守り活動を支援し連携することで、トラブルの未然防止と早期解決を図るとともに、啓発活動や消費者教育を推進する。				主な財源				
主要な事務・事業の概要	○会計年度任用職員任用経費（消費生活相談員：1人）			3,755千円	○消費生活相談など				
	○補助金			240千円	【相談】308件				
	・消費生活学習グループ活動費補助金（補助率：2／3以内）				【出前講座】33回 【消費生活セミナー】1回				
	○その他経費			289千円	○消費生活学習グループ活動				
	・通信運搬費（電話代）			72千円	【会員数（令和8年3月31日現在）】76人				
	・備品購入費（新PIO-NET用PC：1台）			183千円	峰山 14人 大宮22人 網野 5人 丹後15人 弥栄 6人 久美浜 14人				
	・消耗品費（事務用品、参考図書、子ども教室資材等）			34千円	【活動内容】				
					・各支部啓発活動（57回）				
					峰山9回 大宮10回 網野10回 丹後9回 弥栄10回 久美浜9回				
					・消費生活学習会、視察研修等の実施 ※支部ごとに実施				
					・クリーン活動（12回）				
					峰山2回 大宮2回 網野1回 丹後2回 弥栄1回 久美浜4回				
					成果・課題	○専門相談員が、出前講座や久美浜有線放送等を活用した情報提供の機会を多く作り、市民からの消費生活相談に迅速かつ適切に対応することにより、消費者被害の防止と早期解決に寄与できた。			
						○情報提供や啓発物品の配布、消費生活学習グループの活動等を通して、消費者被害を未然に防ぐとともに、市民の消費トラブルに対する知識と意識を高めることができた。			

予算科目	款	02 総務費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	商工観光部																																										
	項	01 総務管理費	111,989千円		111,989千円	0千円	100.0 %																																												
	目	17 諸費					(参考)当初予算額	課	商工振興課																																										
	事業	07 原油価格・物価高騰対策支援給付金給付事業【再掲】					122,278千円																																												
まちづくり 27の施策		18 地域の雇用・経済を担う商工業の振興	主な財源	国補 物価高騰対応重点支援地方創生臨時交付金 111,900千円																																															
目的		エネルギー価格の高騰が続く中、エネルギー価格高騰対策支援給付金を支給し、市内事業者等の負担軽減と経営の安定化を図る。																																																	
主要な事務・事業の概要	○エネルギー価格高騰対策支援給付金 111,989千円			【交付内訳】																																															
	【対象経費】 事業の用に供する光熱費 （電気、ガス、ガソリン、軽油、灯油、重油及び混合油） 【対象者】 市内に事業所等を有する個人・法人（農林漁業者含む） 【対象期間】 令和7年1月～令和7年12月 【給付率等】 （1）事業所光熱費対策分 ・対象期間に支払った光熱費のうち任意に選択した3か月分の合計額の10%を交付 ・限度額：法人等：300千円、個人事業主等：100千円 （2）運輸車両等燃料費対策分 ・対象期間に支払った運輸車両の運行に要した燃料費の10%を交付 ・車両1台当たり限度額：普通自動車／30千円、小型自動車／25千円、軽自動車／5千円			<table><tr><th rowspan="2">所管</th><th colspan="2">全体</th><th colspan="2">内運輸車両等燃料費対策分</th></tr><tr><th>交付件数</th><th>交付額</th><th>交付件数</th><th>交付額</th></tr><tr><td>商工振興課</td><td>1,135件</td><td>90,086千円</td><td>30件</td><td>8,927千円</td></tr><tr><td>障害者福祉課</td><td>23件</td><td>3,075千円</td><td>19件</td><td>1,344千円</td></tr><tr><td>長寿福祉課</td><td>67件</td><td>10,210千円</td><td>45件</td><td>2,776千円</td></tr><tr><td>農業振興課</td><td>199件</td><td>7,889千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>農林整備課</td><td>3件</td><td>460千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>海業水産課</td><td>9件</td><td>269千円</td><td>0件</td><td>0千円</td></tr><tr><td>計</td><td>1,436件</td><td>111,989千円</td><td>94件</td><td>13,047千円</td></tr></table>					所管	全体		内運輸車両等燃料費対策分		交付件数	交付額	交付件数	交付額	商工振興課	1,135件	90,086千円	30件	8,927千円	障害者福祉課	23件	3,075千円	19件	1,344千円	長寿福祉課	67件	10,210千円	45件	2,776千円	農業振興課	199件	7,889千円	0件	0千円	農林整備課	3件	460千円	0件	0千円	海業水産課	9件	269千円	0件	0千円	計	1,436件	111,989千円	94件
所管	全体		内運輸車両等燃料費対策分																																																
	交付件数	交付額	交付件数	交付額																																															
商工振興課	1,135件	90,086千円	30件	8,927千円																																															
障害者福祉課	23件	3,075千円	19件	1,344千円																																															
長寿福祉課	67件	10,210千円	45件	2,776千円																																															
農業振興課	199件	7,889千円	0件	0千円																																															
農林整備課	3件	460千円	0件	0千円																																															
海業水産課	9件	269千円	0件	0千円																																															
計	1,436件	111,989千円	94件	13,047千円																																															
				成果・課題	○原油価格・物価高騰に対して給付金を交付することにより、市内事業者及び市内農林漁業者等の負担軽減と経営の安定化を図ることができた。 ○引き続き、市内の景況やエネルギー価格の動向に注視し、支援策について必要に応じて検討を行う。																																														

予算科目	款	04 衛生費	本年度決算額		最終予算額	不用額	執行率	部	市民環境部	
	項	01 保健衛生費	2,679千円		2,726千円	47千円	98.2 %			
	目	04 健康推進費					(参考)当初予算額	課	保険事業課	
	事業	02 高齢者フレイル予防事業【再掲】					3,539千円			
まちづくり 27の施策		04 健やかで生きがいのある健康長寿のまちづくり	主な財源	諸収入	後期高齢者医療保健事業補助金				796千円	
				諸収入	後期高齢者医療保健事業委託金（10/10）				1,597千円	
目的	保健師や管理栄養士等の医療専門職が国保データベースシステムの活用等により、健康課題及び事業の対象者を把握し、高齢者の特性に応じた保健事業を実施することで、生活習慣病の重症化とフレイルの予防を図り、健康寿命の延伸・介護予防につなげる。 また、歯科の健康診査を実施し、口腔機能の低下や肺炎などの疾病を予防する。									
主要な事務・事業の概要	京都府後期高齢者医療広域連合の委託を受けて取り組む「高齢者の保健事業と介護予防等の一体的な実施」事業。病気・フレイル等のリスクが高い方への個別支援と、集いの場に出向いて健康教育や健康相談を行う集団支援を実施する。				【所管：保険事業課】					1,081千円
	【所管：健康推進課】				1,598千円					
	＜個別支援（ハイリスクアプローチ）実績＞				○国保データベースシステム関連経費					544千円
					・データ管理手数料					532千円
					・保険者端末保守管理負担金					12千円
					○後期高齢者歯科健診経費					537千円
					令和8年3月末までに満76歳になれる方を対象に、市内協力歯科機関で歯・歯肉の状態や口腔機能状態等チェック					
					実施期間：令和7年7月～令和8年1月末					
					対象者：923人 受診者：77人					
					・需用費（消耗品費、印刷製本費）					56千円
					・通信運搬費					101千円
					・後期高齢者歯科健診委託料					380千円
					成果・課題	○個別支援では、生活習慣病重症化リスクの高い者を個別に訪問することで、対象者の約7割を医療に結びつけることができた。また、低栄養者や医療機関受診歴の無い者を訪問し、必要な支援を行うことで、重症化の防止につながった。				
						○集団支援では、福祉委員への事業説明を年度当初に実施したことで、出前講座の依頼が増え、より多くの方にフレイル予防の健康教育を行うことができ、知識の普及や健康意識の向上につながった。				
				○歯科健診により口腔機能の低下や肺炎等の疾病予防に寄与した。						